

第八十六回  
帝國議會  
貴族院

所得稅法外十六法律中改正法律案特別委員會議事速記第一號

付託議案

○所得稅法外十六法律中改正法律案

○地方稅法及地方分與稅法中改正法律案

委員氏名

委員長

副委員長

- 伯爵林 博太郎君
- 男爵稻田 昌植君
- 公爵德川 家正君
- 侯爵細川 護立君
- 侯爵筑波 藤鷹君
- 子爵松平 乘統君
- 子爵西尾 忠方君
- 子爵梅園 篤彦君
- 子爵安藤 信昭君
- 子爵本多 忠晃君
- 下條 康鷹君
- 內田 重成君
- 長 世吉君
- 男爵松平外與齋君
- 男爵近藤 滋彌君
- 男爵島津 忠彦君
- 三浦 新七君
- 黑田 英雄君
- 澤田 牛麿君
- 竹下 豐次君
- 井坂 孝君
- 千石與太郎君
- 正力松太郎君
- 橋本辰二郎君
- 佐々木長治君

昭和二十年二月一日(木曜日)午前十一時八分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 只今ヨリ所得稅法外十六法律中改正法律案、地方稅法及地方分與稅法中改正法律案、

此ノ兩案ニ付キマシテノ特別委員會ヲ開會致シマス、初メニ當局カラ御説明ヲ煩シマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 本案ノ說明ヲ致シタイト存ジマス、本會議ニ於テモ說明致シマシタ如ク、戰局ハ愈々苛烈ト相成リ、臨時軍事費其ノ他決戦下避クベカラザル諸經費ハ多額ニ上ルノデアリマシテ、之ニ對處致シマシテ、國庫收入ノ増加ヲ圖ルト共ニ、最近ニ於ケル通貨、金融等ノ諸情勢ニ顧ミマスレバ、戰時經濟ノ圓滑ナル運営ヲ圖ル爲ニハ國民購買力ノ吸收ニ資スル方途ヲ講ズルノ必要ガアルト思フノデアリマシテ、是等ノ點ヨリ致シマシテ、増稅ヲ必要ト致スト考ヘルノデアリマス、支那事變以來既ニ八回ニ互ツテ六十七億圓ニ達スル増稅ヲ致シテ居リマシテ、國民ノ負擔モ相當増加ハ致シテ居ルノデアリマスガ、政府ト致シマシテハ、此ノ際重ネテ増稅ヲ行フコト誠ニ已ムヲ得ザルモノト認メタ次第デアリマス、苛烈ナル戰局下ニ於キマシテ、稅制ノ根本ノ改正ヲ行フト云フコトハ如何カト考ヘルノデゴザイマス

ノデ、租稅制度ニ改廢ヲ加フルコトナク、簡素且重點ニ分類所得稅、法人稅、酒稅等ノ主要稅目ニ付テ稅率ノ引上ヲ行フコトニ致シタノデアリマス、又本増稅ノ實施ト共ニ、時局下緊要ナル諸政策ノ圓滑ナル遂行ニ資スル爲租稅ノ減免ヲ行ヒ、官民相互ノ手數ヲ省略シ、又非常ノ際ニ於ケル稅務ノ運營ヲ爲スニ遺憾ナカラシムルコトヲ期シタ次第デアリマス、増稅案ノ内容

ニ付テ御説明ヲ致シマスレバ、先ヅ分類所得稅デアリマスガ、稅率ヲ百分ノ三引上グルコトヲ原則ト致シタノデアリマシテ、稅額ニ於テハ二割程度ノ增收ヲ來スコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、即チ勤勞所得ニ付キマシテハ百分ノ十五ノ稅率ヲ十八ニ致シマス、事業所得ニ付キマシテハ百分ノ十八ヲ二十一ニ致シマス、株式配當等ニ付テハ百分ノ十九ヲ二十二引上ゲムトスルノデアリマス、不動産所得ニ付キマシテハ、現行百分ノ二十一デアリマスガ、是ハ矢張り外ノ資產所得ト同様ニ二十ニ致スコトト致シマシテ、二引上ゲタ次第デアリマス、又元本五千圓以下ノ預貯金ノ利息等ハ現在百分ノ五ノ稅率デアリマスガ、是モ少額貯蓄獎勵ノ意味ニ於キマシテ、一應百分ノ二ノ引上ニ致シタノデアリマス、又元本五千圓ヲ超エル銀行貯蓄預金、市町村農業貯金等ノ利息ニ付キマシテハ、從來ハ一般銀行預金ヨリ百分ノ五低イ稅率ニ依ツテ課稅シテ來タノデアリマスガ、斯カル必要ハナシト存ジマスシ、又非常ニ複雑ニ相成ツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ今回ノ改正ニ當リマシテ、普通銀行ノ預金ト同様ナ扱ヒニ致シテ居ルノデアリマス、又投資信託ノ利益ニ付キマシテハ、其ノ所得ノ性質カラ見テ百分ノ二十一ノ稅金ヲ徵ルコトニシタノデアリマス、尙免稅點及基礎控除、扶養家族及生命保險料ノ控除ハ現行通りデゴザイマシテ、變リゴザイマセヌ、法人稅ハ分類所得稅ト同様百分ノ三引上ゲマシテ、百分ノ三十三ニ致シマシタ、ソ

レカラ特別法人稅ハ百分ノ二引上ゲマシテ、百分ノ二十二ト云フコトニ致シマシタ、共ニ一割程度ノ增收ト相成ルコトト存ジマス、通行稅ニ付キマシテハ三等ノ稅率ガ一「キロ」二厘五毛デアリマシタノヲ五厘ニ致シマシタ、二等ノ一錢二厘五毛ヲ二錢ニ、一等ノ二錢五厘ヲ四錢ニ引上ゲマシタ、其ノ他多少改正ヲ行ツタモノモゴザイマス、總稅額ニ於テ九割程度ノ増徵デアリマス、次ニ酒ノ稅金デアリマスガ、清酒ニ付キマシテハ第一級酒ハ現在一石ニ付九百九十五圓、第二級酒ハ六百二十圓ノ稅率デアリマスガ、今回一級酒ト二級酒トヲ合併シマシテ、之ヲ一級酒トシマシテ、一石ニ付千二百四十五圓ノ稅率トシ、三級酒ハ三百四十圓ノ稅率ヲ五百八十五圓ニ致シタノデアリマス、其ノ結果清酒ノ公定價格ハ一級酒ハ一升十五圓程度、二級酒ハ八圓程度ト相成ル見込デアリマス、尙其ノ他ノ酒類モ一般ニ此ノ稅率ニ準ジテ引上ゲタ次第デアリマス、價格特配酒ト云フモノガゴザイマシテ、是ハ普通ハ重要工場等ノ勞務者ニ安ク配給ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、各般ノ事情カラシマシテ之ヲ今度廢止致シタイト思フノデアリマス、此ノ改正ニ於キマシテ、酒ノ稅金ハ總稅額ニ於テ七割程度ノ增收ト相成ル見込デアリマス、入場稅ニ付キマシテハ、其ノ消費ノ性質ト此ノ際其ノ稅率ヲ引上ゲタイト存ズルノデアリマス、第一種、即チ映畫館、劇場等ノ入場料ハ現行稅率ハ五十錢未滿ノモノ百分ノ三十、一圓未滿ノモノ

百分ノ六十デアリマスガ、是等ヲ執レモ百分ノ百ト致シタイト思フノデアリマス、一圓以上ノモノハ百分ノ百乃至百分ノ二百デアリマシタノヲ、總テ百分ノ二百ニ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス、第二種、即チ撞球場、麻雀場等ニ付テモ相當ノ引上ヲ行ヒタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、總稅額ニ於テ九割程度ノ增收ト相成ルト思フノデアリマス、次ニ本増稅ニ伴ヒマシテ、同時ニ實行致シタイト思ヒマス

ル稅法ノ改正ニ付テ申上ゲタイト存ジマス、第一ハ企業ノ再編成、資金ノ蓄積等、諸政策ノ圓滑ナル遂行ニ資スル爲租稅ノ減免ヲ行ハムトスルモノデアリマス、即チ企業ノ整備、疎開、徵用等ノ場合ニ於キマシテハ、現在所得稅、法人稅、臨時利得稅等ノ輕減免除又ハ課稅標準ノ計算ニ關スル特例ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、其ノ期間ヲ一年延長スルト共ニ、其ノ適用ノ範圍ヲ擴張致シタイト思ヒマス、又政府ノ指導斡旋ニ依ツテ、會社ガ合併、解散ヲ致スヤウナ場合ニ於キマシテハ、課稅輕減ノ範圍ヲ更ニ擴張致シマスト共ニ、積立金ヲ以テ株式ノ拂込ニ振替ヘマシタ場合ニ於テハ、今日ノ課稅ガ重過ギルト存ジマスデアリマス、ソレヲ輕減致シタイト思フノデアリマス、更ニ企業整備等ノ爲不動産等ヲ讓渡シタル者ニ對シテハ、利得金額ノ二割ヲ控除シテ、臨時利得稅ヲ課稅致シテ居ルノデアリマスガ、今回其ノ控除ノ割合ヲ多クシタイト思フノデアリマス、ソレカラ防空ノ必要上強制疎開ヲ致シマス爲建物ヲ

第四部第八類 所得稅法外十六法律中改正法律案特別委員會議事速記第一號

昭和二十年二月一日 貴族院

讓渡シタル場合ニ於キマシテ、今日ノ  
稅法カラ言ヒマスレバ、當然臨時利得  
稅ノ賦課ヲ受ケル譯デアリマスガ、左  
様ナ場合ニ於キマシテハ臨時利得稅ヲ  
免除致シタト思フノデアリマス、山  
林ヲ増伐致シマス時分ニ、從來三割ヲ  
控除シテ課稅致シテ居ツタノデアリマ  
スガ、是モ山林ノ増伐ト云フコトガ昨  
今非常ニ必要ナコトデゴザイマスノ  
デ、其ノ控除ノ割合ヲ五割ニ擴張致シ  
テ山林ノ増伐ニ資スルコト致シタノ  
デアリマス、其ノ他輕金屬製造事業ノ  
設備ノ新設又ハ増設ノ場合ニ於テ、法  
人稅及營業稅ヲ免除スベキ期限ヲ五年  
延長スルコト致シマシタ、次ニ長期  
預貯金ノ利息等ニ對スル輕減デアリマ  
スルガ、從來三年デアリマシタモノヲ  
一箇年短縮致シタト思フノデアリマ  
ス、尙銀行貯蓄預金、市町村農業會ノ  
貯金ニ付テモ同様ノ長期預貯金ノ利息  
ニ對シマシテハ分類所得稅ヲ輕減致シ  
タト思フツテ居ルノデアリマス、又市  
町村農業會等ノ貯金デアリマシテ、國  
民貯蓄組合法ノ免稅條件ニ該當致シマ  
スル分ニ付キマシテハ、國民貯蓄組合  
貯金ニ準ジマシテ、元本一萬圓以下ノ  
モノハ所得稅ヲ免稅致サナイコトニ致  
シタノデアリマス、其ノ他合同運用信  
託ノ信託財產タル登錄公債ノ利息ニ  
付キマシテモ、分類所得稅ヲ免除スル  
コトト致シテ居ルノデアリマス、其ノ  
次ハ、官民相互ノ手數ヲ省略スル等ノ  
爲、租稅ノ賦課徵收ノ簡素化及合理化  
ニ關スルコトデアリマス、先ヅ從來株  
式ノ清算取引所得ニ付キマシテハ、一  
年間ノ損益ヲ通算シテ翌年課稅致シテ  
居ツタノデアリマスガ、事務簡素化等  
ノ趣旨ニ依リマシテ、此ノ方法ヲ改メ  
マシテ、差金決済ノ都度課稅スルコト

ニ改メタノデアリマス、又法人ノ合  
併、解散ノ場合ニ於ケル、實際配當シ  
マセヌデモ配當シタモノト看做シマシ  
テ課稅致シマスコトハ、各般ノ事情カ  
ラシテ無理デアルト存ジマシテ、個人  
ニ課稅スルノヲ廢シマシテ法人ニ課稅  
ヲ致ス、斯様ニ賦課ノ方法ヲ改メタノ  
デアリマス、是ハ昭和十五年ノ改正ノ  
際ニ、法人ニ課稅致シテ居リマシタノ  
ヲ、個人ニ課稅スルコトニ致シタノデ  
アリマスガ、ドウモ個人ニ課稅致スコ  
トハ非常ニ實際上無理ニ存ジマスノ  
デ、再ビ昭和十五年改正前ノ狀態ニ復  
シタト思フノデアリマス、尙地租、  
家屋稅ニ付キマシテハ、賃賃價格ノ合  
計ガ五圓未滿ノモノヲ徵收シナイコト  
ニ致シテ居ツタノデアリマスガ、今回  
之ヲ十圓迄擴張シタ、即チ徵收シナイ  
コトニ致シタ、免稅點ト云ツテハハチ  
ゴザイマスガ、課稅限度ヲ引上ゲタ  
イ、從ツテ少額ノモノニ付テ稅金ヲ納  
メナイ、斯様ナコトニシタト思フノ  
デアリマス、ソレカラ扶養家族及生命  
保險料ノ控除ハ、從來所得者ノ申請ヲ  
條件トシマシテ、申請ノナイ場合ニ於  
キマシテハ控除ヲシテ居ナイノデアリ  
マスガ、新規納稅者等ニ於キマシテ  
ハ、自分ガ課稅ヲ受ケルカ受ケナイカ  
分ラヌノニ申請スル譯ニ行カヌカラ、  
色々從來問題ガアリマシタガ、今回法  
令ノ改正ヲ行ヒマシテ、特別ノ事情ノ  
アリマス場合ニハ、申請ノナイ場合ニ  
於キマシテモ控除シタト存ズルノデ  
アリマス、其ノ他、所得稅及個人ノ臨  
時利得稅ノ場合ニ於キマシテ、納期ヲ  
變更致シタト思ヒマス、從來四回デ  
アリマシタモノヲ、半減致シタト思  
ツテ居ルノデアリマス、其ノ他骨牌稅、  
遊興飲食稅ニ於キマシテモ、手數ヲ

省略スル意味ニ於キマシテ色々改正  
ヲ行ヒタト思フツテ居ルノデアリマス、  
第三ハ現下ノ緊迫セル情勢ニ對處シマ  
シテ、稅務ノ圓滑ナル運轉ヲ期スル爲  
ノ改正デアリマスガ、其ノ主ナルモノ  
ニ付申上ゲマス、先ヅ法人ニ付申告納  
稅制度ヲ新タニ設ケルコトデアリマ  
ス、從來法人ニ於キマシテ法人稅臨時  
利得稅等ノ決定ニ付テハ、決算確定後  
自然相當ノ期間ヲ經過致シマシテ、其  
ノ結果ハ一面ニ於テ國庫收入ノ時期ガ  
遅レルト云フコト共ニ、一面會社側  
ニ於キマシテモ、何時迄モ不安定ノ狀  
況ニナツテ不都合ノ場合ガ少クナカ  
タノデ、今回或一定ノ法人ニ限りマシ  
テ、自分ガ稅金ヲ算定致シマシテ、決  
算確定後六十日以内ニ國庫ニ納稅ヲ致  
スコトニ改メタノデアリマス、尤モ稅  
務官廳ニ於テ後日調査ノ上納メ過ギタ  
モノハ御返シシマスシ、不足ノ分ハ追  
徵致スコトハ當然デアアルノデアリマ  
ス、戰時災害ノ場合ニ於ケル租稅ノ輕  
減免除等ニ付キマシテハ、既ニ法令ノ  
制定ヲ見テ居ルノデアリマスガ、是等  
ニ付キマシテ孰レモ或程度ノ變革ヲ掲  
ゲテ居ルノデアリマス、又法人ノ罰金  
ノコトガアルノデアリマスガ、從來會  
社ガ罰金ヲ納メマス、其ノ罰金ガ會  
社ノ損金ニ相成リマシテ、從ツテソレ  
ダケ稅金ガ減ツテ來ルノデアリマスガ  
ラ、今日ノヤウニ稅金ガ段々高クナツ  
テ來マスト、會社ハ罰金ヲ拂ツテモ、  
實ハ一方其ノ罰金高ク稅金ガ引カレ  
テシマヒマスカラ、殆ド罰金ノ負擔ヲ  
シナイ、斯ウ云フヤウナ狀況ニ相成ツ  
テ來テ居ルノデアリマスカラ、甚ダ面  
白クナイノデアリマスカラ、罰金ハ罰  
金ニ別ニシテ、會社ノ損金トシテ罰金  
ヲ含マナイト云フコトニ致シタト存

ブルノデアリマス、是ハ殊ニ此ノ頃ノ  
ヤウナ經濟事犯ノ多イ場合ニ於キマシ  
テハ、殊ニ其ノ必要ヲ感ズルノデアリ  
マス、サウ云フヤウナ改正ヲ致シタ  
ト思フノデアリマス、尙此ノ貴族院  
ノ方面ニ於キマシテ、屢、御尋ノアリ  
マシタ此ノ納稅團體ノ管理スル納稅資  
金等ノ亡失致シマシタ場合ニ於ケル、  
納稅者ニ對スル救濟規定ヲ整備致シタ  
次第デアリマス、以上、今次增稅及  
稅制改正ニ關スル概要ヲ御說明致シタ  
譯デアリマスガ、今回ノ增稅ニ依リマ  
シテ、平年度ニ於テ分類所得稅八億四  
千餘萬圓、法人稅一億二千七百餘萬  
圓、特別法人稅二百餘萬圓、通行稅一  
億三百餘萬圓、酒稅七億四百餘萬圓、  
入場稅一億三百餘萬圓、合計十八億八  
千餘萬圓ノ増收ニ相成ル計算デアリ  
マス、併シナガラ初年度ニ於キマスル  
計算ハ十七億七千餘萬圓デアリマシテ、  
多少ノ減收ノアリマスコトハ當然デア  
リマスガ、新タニ稅制ノ改正ニ依リマ  
シテ、平年度ニ於キマシテ七千六百餘  
萬圓ノ減收ニ相成ル豫定デアリマス  
ガ、昭和二十年度ニ於キマシテハ、二  
億二千餘萬圓ノ増收ト相成ルノデア  
リマス、ソレハ法人ノ課稅決定ガ遅レ  
テ居リマスノデ、一面ニ於テハ前ノ事  
業年度ニ對シマシテハ、稅務署ニ於テ  
決定致シマスルノト、新シイ事業年度  
ノ分ハ會社ガ自分デ納メルノデアリマ  
スカラ、其ノ間ニ稅收ガ殖エル結果ニ  
相成ル次第デアリマシテ、此ノ間ノ會  
社ノ負擔力ニ付キマシテハ、稅務署ハ  
所得ノ決定ニ當リマシテ十分留意致ス  
豫定デアリマスガ、併シナガラ恐ラク  
ハ斯クノ如キ増收ヲ見込マザラ得ナ  
イト思フノデアリマシテ、其ノ結果ガ  
其ノ增稅ト其ノ稅制、稅制ト申シテハ

語弊ガゴザイマスガ、稅法ノ改正等ヲ通  
ジマシテ、平年度ニ於キマシテ十八億  
五百餘萬圓、昭和二十年度ニ於テハ十  
九億二千三百餘萬圓ノ國庫收入ノ増加  
ト相成ル次第デアリマス、是等ノ收入  
ハ一切ヲ舉ゲマシテ臨時軍事費ノ支辨  
ニ充テテ居リマスコトハ御說明致シタ  
通りデアリマス、大體以上デアリマ  
ス  
○委員長(伯爵林博太郎君) 序デアリ  
マスカラ、地方稅法及地方分與稅法中  
改正法律案ニ付キマシテ內務大臣カラ  
御說明ヲ願ヒマス  
○國務大臣(大達茂雄君) 本委員會ニ  
付託ニナリマシタ地方稅法及地方分與  
稅法中改正法律案ニ付キマシテ、大體ノ  
御說明ヲ申上ゲマス、本會議デモ申上  
ゲマシタノデアリマスガ、昭和十五年  
ノ稅制改正以後ノ時局ノ進展ニ伴フ地  
方財政事情ノ變化ト財政需要ノ增高ニ  
對シマシテハ、地方團體ヲシテ極力不  
急事業ノ抑制、既定經費ノ節減等ヲ圖  
ラシムルト共ニ、年々必要財源ノ擴充  
供與ニ努メテ參ツタノデアリマスガ、  
最近ノ情勢ハ益々、地方負擔ガ激増シテ  
居ルヤウナ情勢デアリマス、一面又地  
方分與稅制度ノ經過年度ヲ終了スルノ  
デアリマスガ、此ノ終了スル結果ハ、  
地方財政調整上ニ支障ヲ及ス點ガアリ  
マス、左様ナ譯デアリマスノデ、地方  
團體ヲシテ時局下其ノ活動ノ上ニ遺憾  
ナカラシメムガ爲ニ此ノ機會ニ於テ當  
面スル地方財政需要ニ即應致シマスル  
ヤウニ財源ノ擴充ト配分ノ適正ヲ圖ル  
必要ガアルノデアリマシテ、其ノ點カ  
ラ今回地方稅法及地方分與稅法中差當  
リ必要ト認メラレマス諸點ニ付、改  
正ヲ加ヘムトスル次第デアリマス、改  
正ノ第一點ハ、市町村民稅ノ賦課總額

ノ限度ノ引上テアリマシテ、現行一人當リ平均大都市ニ於テ八圓、都市ニ於テ六圓、町村四圓ト云フコトニナツテ居リマス...

得税及法人税並ニ入場税、遊興飲食税ヨリノ各配付税収入額ニ按分ラシテ、ソレノノ繰入割合ヲ増率スルコト...

シタノデアリマス、改正ノ第四點ハ市町村配付税ノ大都市、都市、町村ヘノ分割方法ヲ改正シタノデアリマス...

スル傾向ガ一層著シクナツテ居リマスノデ、此ノ際配付税ガ人口少數ナル團體ニ比較的多ク分與セラレマス...

リガ分リマスガ、此ノ税法、増税法ノ法案ハ、之ヲ讀ソデ見マシテモ、ナカク目的ガハツクリシナイヤウナ氣ガスル...

ス、戰時財政ノ幾割ヲ公債ニ依リ、幾割ヲ稅ニ依ルベキカト云フコトハ別ニ御承知ノ通り原則ハナト思フノデアリマス、併シナガラ出來得ル限りノ實收入ヲ以テ戰時財政ヲ支辨致シテ行クト云フコトハ、如何ナル觀點カラ考ヘテモ當然デアルト思フノデアリマス、

今同ノ増稅モ豫算全體等ニ睨ミ合セマシテ、一方ニ於テ公債モ相當増發致サレルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、同時ニ實收入デアリマス所ノ租稅ト云フモノモ、此ノ際増稅ヲ行ツテ、サウシテ増加致シテ行ク國費ノ一部ハ實收入ヲ以テ支辨致シタイト、斯様ナ考カラシテ、此ノ増稅ヲ致シテ譯デアリマス、一方ニ於キマスル公債發行ノ額、其ノ消化ノ模様等ヲ睨ミ合セマシテ、租稅ノ計畫ヲ致シテ次第デゴザイマス、左様御了承願ヒマス

○澤田牛麿君 只今ノ大體ノ御趣意ハ分リマシタガ、其ノ計畫ヲ御立テニナルニ付テノ割合、公債ハドノ位、或ハ稅收入其ノ他ノ官業收入等ヲ混ゼテノ收入ニ依ルモノガドノ位ト云フノガ適當ナ所デアルト云フ略、御見込ノ點ガアルノデヤナイカト思フノデスガ、何十「パーセント」ガ公債ニ依ル、或ハ何十「パーセント」ガ租稅其ノ他官業等ノ收入ニ依ルト云フノガ適當デアルト云フ、サウ云フ何處ガ適當デアルト云フ所、狙ヒ所ノ數字ガ極ク大體御伺ヒシテ見タイノデアリマス、是ハ租稅ノ單獨ノ租稅カラ申シマス、負擔力ノアル者カラ取レバ宜イト云フコトニナルノデアリマスケレドモ、其ノ時ノ所要ニ應ジテ額ガ變ツテ來ルデラウト思ヒマスガ、公債ヲ是以上募レナイカラ、租稅ノ方デ是ダケヲ賄フ、或ハ公債ト租稅トノ割合ガドノ位デアルノガ

適當デアアルカラ斯ウスルトカ、斯ウ云フ出發點ノ御見込ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) ドウモ左様ナ割合ハ、是ハ個人的ナ意見ハアルヤウデアリマスガ、全般ニ戰時財政ニ當ツテ、公債ハ必ズ何「パーセント」、租稅ハ必ズ何「パーセント」ト云フ、左様ナ理論ノ條件ト云フモノハナイモノト思ヒマス、從ヒマシシテ私ガ今回増稅案ヲ立案致シマスルニ當リマシテモ、別ニ何「パーセント」ハ税金ニ依ルベシ、何「パーセント」ハ公債ニ依ルベシト云フ、左様ナ理論カラ出發ハ致シテ居リマセヌ

○澤田牛麿君 今ノ御答ニ依リマス、別ニサウ云フ計畫ハナト云フコトニナリマス、租稅ハ出來ルダケ取ルト云フコトニシテ、アト足ラヌ分ヲ公債デアルト云フ意味デアリマスガ、或ハ何「パーセント」ト云フ數字ハ必ズモ附スル意味デアリマセヌガ、主トシテ主ナ部分ヲ公債ニ依ツテ賄ツテ、其ノ足ラヌ分ヲ増稅ニ依ルト云フ意味デアリマスガ、ドウモ増稅ト公債トノ關係ガハツキリ頭ニ入ラヌノデアリマセヌガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 私ハ出來ル限り實收入ニ依ルベキモノト思フノデアリマスガ、御承知ノヤウナ戰時財政膨脹ノ際ニ於キマシテ、其ノ多クノ部分ヲ實收入ニ依ルコトハ、出來マセヌ、從ヒマシシテ多クノ部分ヲ公債ニ依ツテ居ル、公債ニ依ツテ居ルガ、出來ル限りノモノハ實收入ニ依リタイ、斯様ニ思ツテ居ル次第デアリマス、日本ノ從來ノ歴史カラ言ヒマシシテモ、日清戰爭ハ全部公債ニ依ツテヤッタノデアリマス、日露戰爭ハ其ノ一部ヲ公債ニ

依リ、其ノ一部ヲ増稅ニ依ツタノデアリマスガ、主トシテ公債、ソレモ外債ニ依ツタモノガ相當多カッタト思フノデアリマス、今回ノヤウナ日清戰爭日露戰爭トハ、桁ノ違フヤウナ大キナ戰時ハ、ドウシテモ主ナル部分ヲ公債ニ依ラザルヲ得マセヌ、出來得ル限り實收入ヲ以テ支辨致シテ行ク計畫ガ件ヲベキモノデアルト存ジテ居ル次第デアリマス

○澤田牛麿君 ソコデ私ノ疑問ハ、極メテ幼稚ナコトデアリマスルガ、今迄ノ財政ノ計畫ト云フモノハ、大體實收入ヲ主ニシテ、足りナイ所ヲ公債ニ依ルト云フノガ大體ノ計畫ノ通則ノヤウデアリマスルガ、併シソレハ是迄ノ時勢ハサウ經費ヲ一時ニ要スルト云フコトガナカツタノデ、所謂健全財政ト云フ譯デ、實收入ヲ本ニシテ足りナイ部分ヲ公債ニ依ルト云フノガ原則デアツタラウト思ヒマスガ、今日ノ狀況ヲ見マスルト、國家ノ經費ガ非常ナ膨脹ヲシ、非常ナ數字ニ上ツテ居ルノデ、モウ其ノ健全財政ノ理論ト云フヤウナモノハ根柢カラ崩レテシマツタモノデアナイカト疑フノデアリマスガ、サウスルト此ノ稅ヲ取レルダケ取ル、取レルダケト云フコトモ非常ニ不確實ナ言ヒ方デアリマスルケレドモ、稅ヲ取ツテ賄フノガ宜イノデアルカ、或ハ主トシテ公債ノ方ニ臨時ニ大キナモノハ求メルト云フ風ニスルノガ宜イノデアルカ、頗ル其ノ點ハ疑問デアナイカト思フノデアリマス、ソレデ是迄ノ稅制ノ教科書等ニ載ツテ居ル所ノ主義ナリ方針ナリト云フモノハ、此ノ際全然別ノ見地カラ考ヘテ、モウ從來ノ學說トカ色々ナ説トカニ囚ハレズニ全ク新タナ頭デ考ヘナケレバナラヌヤウナ時勢ニ

ナツテ居ルノデヤナイカト疑フノデアリマスガ、果シテサウデアルトスレバ、此ノ租稅ヲ増スト云フコトヨリハ、寧ろ端的ニ言ヘバ、少シバカリノ租稅ヲ増スト云フヨリハドウモ非常ナ額ヲ公債ニ依ツテ居ルノデアルカラ、其ノ中ノ僅カノモノヲ、租稅ヲ弄ルト云フデハナイカ、斯ウ云フヤウナ疑ヒヲ持ツノデアリマス、勿論今度ノ増稅ノ中ニハ、遊興稅トカ或ハ飲食稅トカ云フ購買力ノ吸收トカ、或ハ奢侈ヲ防グトカ、種々ノ副目的ガアルヤウデアリマスガ、サウ云フモノハ別トシテ、例ヘバ所得稅ニ付テ言ヘバ、所得稅ハマダ外國ト比ベテ幾ラカ低イカラモウ少シ上ゲル、サウ云フ理論カラ出テ行クヨリハ、寧ろ公債ニ至部依ツテシマツテ、煩瑣ナ小サナ増稅或ハ稅率ノ引上ゲト云フヤウナコトハヤラナイ方ガ宜イノデヤナイカト云フ疑問ヲ持ツノデアリマス、或ハ成ル程公債ニ依ツテモ稅ニ依ツテモ、國家ノ支出スル金額ハ同ジコトニナリマセウケレドモ、稅ニ依リマス、ソレダケ影響ガ各方面ニアルノデハナイカ、即チ個人ニ對スル苦痛ト云フモノガ非常ニ大キナル、又是ハ私極メテ素人デ分リマセヌガ、公債ニ依ルヨリハ稅ニ依ツタ方ガ物價騰貴ノ原因ヲ餘計作ルノデヤナイカ、無論公債ニ依ツテモ、國家ノ支出ガ多クナレバ、ソレダケ物價騰貴ノ趨勢ヲ來スノデアリマスケレドモ、直接此ノ稅ニ依ツテ收入ヲ増スト云フコトニナル、ソレダケハ即チ物價騰貴ノ原因ニナルノデハナイカ、物價騰貴ヲスレバ、同ジダケノ支出ヲシテ居ツテモ、歳出ノ額面ハ非常ニ殖エルノデアリマスルカラ、稅ヲ増シテモ物價騰貴ノ勢ヲ増シ、ソ

レガ循環シテ歲計ノ總額ガ増スト云フヤウナコトニナルト、結局龜ゴツコデ、物價ガ高クナレバ色々支出條給等モ増サナケレバナラヌコトニナリ、餘リ其ノ實質上ノ效果ガ期待出來ナイノデヤナイカト云フヤウナ疑ヒヲ持ツノデアリマス、煙草ノ專賣ニシテモ、ソレカラ酒ノ稅ニシテモ、實質ハ同ジヤウナモノデアリマスガ、政府ガ低物價策ヲ執ルト云フ建前ニ對シテ、消費稅ガ殖エタリ所得稅ガ殖エタリスルト云フヤウナコトハ、政府ガ物價騰貴ノ何ト云フヒマスガ、魁ケラスルト云フヤウナ實情ニナルノデヤナイカト思フノデアリマス、寧ろサウ云フ點カラ申シマスルト、是迄ノ理論等ニ拘ラス、大部分ヲ公債ニ依ツテ僅カバカリノ補充的ノ増稅ト云フヤウナモノハ、シナイ方ガ却テ全體ノ結果トシテハ、宜イノデアナイカト云フ感ジガスルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ後味ト云ヒマスガ、是ハオカシナ譬ヘデスガ若デ言フト後味ガ悪い、増稅ヲシテ後味ガ餘リ好クナイト思フ、即チ詳シク言ヒマス、増稅ヲ根本的ノ改革デナクテ、或部分ニ稅率ヲ増スト云フヤウナヤリ方ハ、今迄ニ相當ニ負擔ヲシテ居ル者ニ又負擔ヲカケルト云フコトニナリマスカラ、之ヲ簡單ニ言ヘバ、中等健全ナル階級ニ一番苦痛ヲ與ヘルト云フコトニナル、中等階級ヲ破滅ニ導ク一ツノ因子トモナルノデアリマス、即チ稅ガ上リ、消費ノ稅ガ上ルト云フコトハ、ソレダケ生産費ガ高マルト云フコトニナルノデアラウト思ヒマス、煙草モ酒モ一ツノ生産費トシテ考ヘラルベキモノデアナイカ、サウスルト、詰リ勞銀ナリ給金ナリト云フヤウナモノガ、矢張り高マツ

テ行ク、サウスルト、ソレハ生産費ノ昂上ニナル、即チ物價騰貴ノ直接ノ原因ニナルト云フヤウナコトニナルト、ドウモハ寧ろ板挟ミノ……收入ヲ得ル爲ニ税率ヲ増スト云フヨリハ、寧ろ公債ニ依ツテ、ドウモ公債ガ非常ナ額ニナツテ居ルノデアリカラ、僅カバカリノコトハ大シテ違ヒハナイト私ハ思フテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ種々ノ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、當局ノ教ヲ乞ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡嘉次郎君) 戰時財政

ガ租稅ニ依ル部分ガ少イカラ、或ハ全部公債ニ依ツテシマツタラドウダト云フ御説デアリマスガ、此ノ全部ヲ公債ニ依ルト云フヤリ方ハ、從來ヤツテ居ツタ例カラ考ヘマシテモ甚ダ芳シクゴザイマセヌ、戰時ノ財政ヲ總テ公債ニ依ツテ支辨シテ行ク、増稅ハ僅カデアリカラ左様ナコトハ行ハヌト云フコトヲ、最モ極端ニヤツテ居リマシタノハ、此ノ前ノ「ヨーロッパ」戰爭ニ於ケル「ドイツ」ノヤリ方デアツタノデアリマス、此ノヤリ方ト云フモノガ、結局戰後ニ於テ「ドイツ」ガアレダケノ「インフレーション」ニ陥ツタ所ノ一ツノ大キナ原因デアルト云フコトヲ、屢言ハレテ居ルノデアリマス、ドウ致シマシテモ、矢張り戰時財政ハアタナト今言ハレルヤウニ、主トシテ公債財源ニ依ラザルヲ得マセヌガ、公債財源ニ依ラザルヲ得マセヌガ、ドウシテモ一方ニ於テ矢張り實收入ノ増加ト云フコトヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、從ヒマシテ今度ノ「ヨーロッパ」戰爭ニ當リマシテハ、各國共同レカト言ヘバ、寧ろ實收入ニ重キヲ置クト云フ傾向ニ一層進ンデ居ルヤウデアリマス、第一次ノ「ヨーロッパ」戰爭ト今度

ノ世界戰爭トノ各國ノ財政ノ行キ方ヲ考ヘマスト、今度ノ方ガ實收入、稅收入ト云フモノニ重キヲ置イテ居ル、ソレハ左様ニハ言ヒナガラ其ノ多クノ部分ハ公債ニ依ツテハ居リマスケレドモ、何レカト云フト實收入ニ重キヲ置ク、増稅ニ重キヲ置クト云フコトハ、此ノ前ノ「ヨーロッパ」戰爭カラ見ルニ、更ニ一層度ヲ加ヘテ居ルト思フノデアリマス、今度ノ増稅ニ致シマシテモ、今アナタハ僅カバカリノ稅ダト仰シヤイマシタガ、ソレハ豫算全體カラ見レバ僅カノヤウデアリマスガ、是ダケノ増稅ト、更ニ煙草ノ増收、富饒ノ收入、ソレデ概略三十億ニナル、ソレニ外地方方面カラノ租稅等ノ收入ヲ加ヘマスト三十三億四億ニナル、三十三億ト云フモノハ、御考ヘ下サレバ丁度一千億ノ公債ニ對スル利子ニ相當スルヤウナ金デアリマス、公債ヲ發行シ、更ニ其ノ利子額モ亦公債ニ依リ、又公債ヲ發行シテ其ノ利子ヲ公債ニ依ツテ行ク、斯様ナコトヲ繰リ返シテ行クト云フコトハ、一面ニ於テ公債ガ高マル上ニモ高マツテ行クト云フ、所謂雪達磨式ノヤリ方デアルト言ハレテ居ルノデアリマス、今日私ハ一千億ノ公債ニ相當スル利子額ダケヲ増稅スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ、此ノ増稅計畫ヲ致シタ譯ダハゴザイマセヌガ、今アナタガ僅カダト言ハレルヤウナ收入デアツテモ、一千億ノ公債ノ其ノ財源ヲ賄フベキ所ノ利子額ト云フモノガ、茲ニ實收入トシテ生ジテ來ルノデアリマシテ、私ハ決シテ少イ額ダトハ存ジテ居ラヌノデアリマス、又物價騰貴ノ問題モゴザイマスガ、何レカト言ヘバ、若シ此ノ公債ヲ發行シテ其ノ公債ガ消化

シ切レナイ、斯様ナコトニナツテ來ルノデアリマスタラバ、ソレダケ札ガ餘計流通スル、札ガ餘計ニ流通スルト云フト、ドウシテモ此ノ物價騰貴ノ趨勢ヲ餘計ニ激化スルト云フコトニ相成ツテ來ル傾向ヲ持ツノデアリマス、ソレデ其ノ札ヲ三十億デモ二十億デモ、兎ニ角稅ニ依ツテ引揚ゲヨウト云フノデアリマスカラ、ソレダケ通貨ノ縮小ヲ致シテ來ルコトハ疑ヒナイノデアリマス、之ニ依ツテ政府ハ通貨ノ膨脹面カラ來ル所ノ物價騰貴ヲ防ガウ、斯ウ云フコトガ一面ニ於テ考ヘラレテ居リマスコトハ今申上ゲテ居リマス通り、一面ニ於テハ浮動購買力ノ吸收ニ充テリマスガ、浮動購買力ノ吸收ニ充テルト云フコトハ、即チ通貨ヲソレダケ引揚ゲルト云フコトデアリマス、一方ニ於テ此ノ「インフレーション」ノ働キヲスル奴ヲ、此ノ増稅ニ依ツテ「デフレーション」ノ働キヲ茲ニ加味シテ行カウト、斯ウ云フコトデアアルノデアリマス、從ツテ成程酒ヲソレダケ賣ラナケレバ、煙草ヲソレダケ賣却致サナケレバ、酒、煙草ノ値段ト云フモノハ、此ノ増稅ヲシタダケ舉ガラナイカモ知レナイ、一般ノ通貨膨脹ニ依ツテソレダケ舉ガラナイカモ知レナイガ、サレバト云ツテ左様ナコトヲ其ノ儘ニ致シテ置キマスレバ、一般ノ物價ガ騰ツテ來ル、却テ生活ノ必需品ガ騰ツテ來ル、デ増稅ヲシナイデ、酒、煙草ト云フヤウナモノニ重點的ニ其ノ負擔ヲ掛ケテ、サウシテ通貨ノ吸收ヲ圖ツテ、通貨流通ヲ少クニスル、通貨ノ流通ヲ少クスルト云フコトニ依ツテ、一般生活必需品ノ「インフレーション」ノ物價騰貴ヲ防ガウ、斯ウ云フコトヲ實ハ狙ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ效果ハ相當ア

○澤田牛壽君 御趣意ノ點ノ大部分ハ

能ク分リマシタガ、ドウモ私ノ疑問ハマダ能ク解ケナイノデアリマス、成程購買力ノ吸收ト云フ點ハ御尤モコトト思ヒマスルガ、ソレハハ、例ヘバ「インフレーション」トカ何トカ云フヤウナモノニ付テハ、或ハ富饒等ノ方法モ結構ナコトト思フノデアリマスガ、所得稅ノ率ノ引上ガドウモ購買力ノ吸收ニナルカドウカ、其ノ點ハ頗ル疑問デアリナイカト思フノデアリマス、ソレカラ又今ノ酒、煙草等ノ値上ゲト云フモノハ、購買力ノ吸收ト云フヨリハ、寧ろ私ガ先程申上ゲタヤウナ生産費增加ノ方面、即チ物價騰貴ノ方ニ影響ヲ顯著ニ現ハスモノデハナイカト思フノデアリマス、勿論此ノ公債ニ全部依ツテヤルト云フヤウナコトハ宜シクナイコトト思ヒマスルガ、併シ其ノ公債ト云フコトニ付テハ觀念ガ、今迄ノ觀念ハドウモ私共ニハ十分腑ニ落ちヌ點ガアルノデアリマス、ソレハ丁度田中内閣ノ時ダツタト思ヒマスガ、貴族院デ或専門ノ知識ヲ有セラル、方ガ、斯ウ云フコトヲ言ツタコトガアルコトヲ記憶シテ居リマス、今日本ノ公債ハ五十億ニナツテ居ル、此ノ上公債ヲ出スト云フト、今後戰爭デモアツタ時ニ

ハ、モウ公債ヲ出ス能力ハナクナル、ソレデ非常ニ危險ナヤリ方デアルト云フヤウナコトデ、ソレハ大藏大臣モヤラレタコトノアル立派ナ方言ハレタノデアリマスガ、サウ云フ風ニ公債ト云フモノニ付テ非常ニ危險ヲ懷イテ居ツタト云フコトハ、其ノ當時トシテハ御尤モデアリマセウガ、今日カラ觀マストソレハ頗ル紀念デアツタノデ、五十億トコロデハナイ、大變ナ公債ニナツテモ、兎ニ角國家ハ減ビテ居ラス、サウ云フ狀況デアリマスカラ、此ノ公債ト云フコトニ對スル危懼ト云フモノハ、是迄ハ所謂健全財政ノ頭カラ、少シ憂慮ニ過ギテ居ル點ガアルノデアリナイカト思ヒマス、是ハマア自分ノ考ヲ申上ゲテ甚ダ恐入リマスガ、公債ハ子孫ニ累ヲ遺スノダカラ、成ルベクヤツチヤイケナイトカ、色々公債ニ關スル説ガアルヤウデアリマスガ、私ハ考ヘマスト、公債ハサウ恐ルベキモノデハナイヤウニ思フノデアリマスガ、現在五十億ノ公債デハ、今後戰爭モ何モ出來ヌデハナイカト言ツタ時カラ見ルト、何倍ニナツテ居ルカ分ラヌ、ソレデ矢張り國家ハヤツテ行ケテ居ルノデアリマス、ノミナラズ借金ノ固マリニ對シテ人格ヲ與ヘ、借金ノ固マリヲ一ツノ活動體トシテ居ル法人、會社ノヤウナモノヲ、國ガ認メテ居ルト云フコトハ、借金ニ對スル考ヘ方ガ餘程或部分トハ違ツタ考ヘ方デアリカト思フノデアリマス、デ、無益ニ使フト云フコトハ是ハ浪費デ、非常ニ禁ジナケレバナラヌコトデアリマスケレドモ、浪費デナイ限リハ公債ニ依ツテ、其ノ公債ガ子孫ニ遺ラウトモ、子孫ト雖モ、矢張り日本國民デアリマスカラ、祖先ノ時代ニ必要ガアツタモノヲ

○澤田牛壽君 御趣意ノ點ノ大部分ハ

能ク分リマシタガ、ドウモ私ノ疑問ハマダ能ク解ケナイノデアリマス、成程購買力ノ吸收ト云フ點ハ御尤モコトト思ヒマスルガ、ソレハハ、例ヘバ「インフレーション」トカ何トカ云フヤウナモノニ付テハ、或ハ富饒等ノ方法モ結構ナコトト思フノデアリマスガ、所得稅ノ率ノ引上ガドウモ購買力ノ吸收ニナルカドウカ、其ノ點ハ頗ル疑問デアリナイカト思フノデアリマス、ソレカラ又今ノ酒、煙草等ノ値上ゲト云フモノハ、購買力ノ吸收ト云フヨリハ、寧ろ私ガ先程申上ゲタヤウナ生産費增加ノ方面、即チ物價騰貴ノ方ニ影響ヲ顯著ニ現ハスモノデハナイカト思フノデアリマス、勿論此ノ公債ニ全部依ツテヤルト云フヤウナコトハ宜シクナイコトト思ヒマスルガ、併シ其ノ公債ト云フコトニ付テハ觀念ガ、今迄ノ觀念ハドウモ私共ニハ十分腑ニ落ちヌ點ガアルノデアリマス、ソレハ丁度田中内閣ノ時ダツタト思ヒマスガ、貴族院デ或専門ノ知識ヲ有セラル、方ガ、斯ウ云フコトヲ言ツタコトガアルコトヲ記憶シテ居リマス、今日本ノ公債ハ五十億ニナツテ居ル、此ノ上公債ヲ出スト云フト、今後戰爭デモアツタ時ニ

負擔スルノハ當然ノコトデアリマス、公債ガ消化出來ナイト云フ今御話ガゴザイマシタガ、公債ノ消化出來ナイ部

ルシ、益、苦シクナツテ居ルト云フヤウナ階級ガアルノデアリマス、之ヲ考慮

リマシタヤウニ、新タニ所得ノ生ジテ來タ所ノ方面ニ付テハ、今日ノ稅法ニ

ドウ云フ目標ヲ定メテ居ル譯デモナイ、唯出來ルダケ租稅ヲ取レルダケ取

スガ、實收入ハ、可能ナ範圍デ實收入カラ取ルト云フ御方針ト拜承シテ宜シ

分ヲ增稅ニ依ルト云フコトガ果シテ出

ハ、果シテ當ヲ得タモノデアラウカド

ス、稅務行政ノ實際ノ話ヲ致シマスレ

ハ、是ハ第一線ニ行ツテ御奉公致シテ

○澤田牛麿君 色々御説明モ伺ヒマシ

カト思フノデアリマス、或ル程租稅モ

御尋ハ今日ノ稅法ニ於テ一律ニ稅率ヲ上

ハ、是ハ率直ニ承認致シマス、併シナ

○澤田牛麿君 先程御話ガアリマシタ

遊興稅トカ何ト云フモノハ別デアリマ

日ノ言葉デ平タク言ハバ、新興階級ニ

ハ、是ハ率直ニ承認致シマス、併シナ

○國務大臣(石渡憲太郎君) 何分ノ幾

入ノ新タニ非常ニ出來タ所、サウ云フ

ケルコトニ相成ツテ居ル、且ソレハ稅

ハ、是ハ率直ニ承認致シマス、併シナ

○澤田牛麿君 是カラ簡單ニ伺ツテ置キ

○子爵梅園篤彦君 大體一般ニ互ツタ

如何ト云フコトニ歸スルカト思フノデ  
アリマス、此ノ點ニ付テ窮カニ實ハ心  
痛ヲ致シテ居ルノデアリマス、就キマ  
シテハ先ヅ第一コ、數年來ニ於ケル國  
民所得ノ增加率ト云ヒマスカ、其ノ増  
加ノ實情ガドナ風ニ相成ツテ居リマ  
スカ、第二ニ國民ノ擔稅力如何、現在  
ノ稅制ノ下ニ於キマシテハ分額所得稅  
綜合所得稅或ハ間接稅ニ於キマシテ  
モ、尙相當ノ增稅ノ餘地ガアルヤウニ  
思ヒマスガ、此處ラガ或ハ頂點デハア  
ルマイカトモ考ヘルノデアリマス、併  
シマダノ餘力ガ十分ニアルト御考ニ  
ナリマスルカ、其ノ兩點ニ付テ、先ヅ  
御說明ヲ煩シタイト存ジマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 國民所得  
ノ問題デアリマスガ、國民所得ハ漸次  
増加ヲ致シテ來テ居リマスコトハ申ス  
迄モゴザイマセズ、此ノ國民所得ノ増  
加ハ、一面ニ於テハ生産力増強ノ爲ニ  
増加致シテ居ル方面モアリマス、又一  
面ニ於テ、公債ヲ發行致スコトニ依  
ツテ生ジテ來テ居ル所ノ國民所得ノ  
増加モアルト思フノデアリマス、此  
ノ擔稅力ノ問題デアリマスガ、擔稅  
力ニ付キマシテハ、一面ニ於テハ、矢  
張り國民所得ノ問題トモ組ミ合ツタ問  
題デアリマシテ、一面ニ於テ國民所得  
ガ増加致シマスレバ、同時ニ擔稅力モ  
増加シテ來ルト思フノデアリマス、又  
擔稅力ト云フモノハ、一面ニ於テハ國  
民生活トモ結ビ著イテ居ルノデアリマ  
スカラ、ギリ／＼ノ結著ト云フ所ニ擔  
稅力ガアルノカ、或ハ其ノ上ニアルノ  
カ、實ハ此ノ擔稅力ト云フ言葉モ極メ  
テ彈力性ヲ持ツタ言葉デアリマスノ  
デ、今日擔稅力ガ此ノ上トモ無イカア  
ルカト云フ御尋ニ付テハ、擔稅力ハ未  
ダアリト、斯ウ云フ御答ヲ致スヨリ外

ニ仕方ガナイカト存ジマス  
○子爵梅園篤彦君 只今ノ大臣ノ御說  
明ニ依リマシテ、國民所得ノ増加ナリ  
又擔稅力ナリ、マダ十分ニアルト云フ  
風ニ伺ヒマシテ、誠ニ意ヲ強クシタ次  
第デアリマス、即チ所得ノ増加、稅率  
ノ増加ノ可能性ガ十分ニアルト伺ツタ  
ノデアリマスガ、然ラバ今何故ニ一杯  
ニ出サレナカッタカト云フヤウニ一應  
疑問ヲ懷クノデアリマス、併シ是ハ考  
ヘマスルト、昨年ノ大増稅ヲ御ヤリニ  
ナリマシタ直後デアリマス爲ニ、經濟  
界ノ影響ト云フコトヲ御考慮ニナツ  
テ、此ノ程度ニ御止メニナツタモノデ  
アルトハ考ヘマスガ、愈々決戰段階ニ入  
リマシタ今日、明年度アタリニ於キマ  
シテハ一杯ニ御ヤリニナル必要ガアリ  
ハシナイカトモ思フノデアリマスガ、  
サウ云フ御意思ハゴザイマセヌデセウ  
カ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) ドノ程度  
ニ增稅ヲ致スベキカト云フコトハ、矢  
張り私ハ其ノ時ニ於キマスル各般ノ狀  
況ニ依ツテ判斷ヲ致スベキモノデア  
ルカト存ズルノデアリマス、昨年ノ增稅  
モ隨分大キナ增稅デアリマシテ、其ノ  
結果ヲ生ズル增稅モアルノデアリマ  
ス、今年再ビ茲ニ少カラザル增稅ヲ致  
スコトニ相成ツテ居リマスノデ、先ヅ  
此ノ邊ノ程度ガ宜カラウカト考ヘテ居  
ルノデアリマシテ、稅ノ立場カラ言ヒマ  
スレバ、マダ增稅ノ餘地ガアルト申シ  
マシテモ、ソレヲ一杯ニ行クト云フコト  
ガ、却テ此ノ生産増強其ノ他各般ノ方  
面ニ於テ、今日ノ決戰段階ニ相應シカ  
ラザル結果ヲ生ズルト云フコトハ、私  
ノ一層害ガアルノデアリマイカト思  
ツテ居ルノデアリマス、人心ノ安定等

色々ナ方面カラシテ、私ハ此ノ程度ノ  
增稅ニ止メテ置イタガ今年ハ宜クハ  
アルマイカ、斯様ニ考ヘタ次第デアリ  
マス、此ノ酒ニシマシテモ、世界ノ酒  
ノ稅率ニ比ベテモ、モウ相當高イ所ヘ  
行ツテ居リマスノデ、是以上ハ實ハド  
ウカト思ツテ居ルノデアリマス

○子爵梅園篤彦君 今後增稅ノ目的物  
ハ如何ナル稅種ニ重點ヲ置クカト云フ  
コトガ、重大ニ相成ツテ來タト思ヒマ  
ス、主トシテ現在ノ稅制ノ下ニ於キマ  
シテハ、分類所得稅ニ重點ヲ置クコト  
ガ最も效果デアアルト考ヘマス、就キ  
マシテハ直接稅デアアル所ノ此ノ分類所  
得稅ニ對シマシテ、今後如何様ニ御考  
ニナツテ居リマスルカ、其ノ點ヲ伺ヒタ  
イト存ジマス、次ニ私ハ直接稅ニ依  
ヨリモ、成ルベク間接稅ニ依リテ元  
來望ンデ居ルノデアリマスガ、確カ一  
昨年ノ本院ノ增稅委員會ニ於キマシ  
テ、間接稅デアアル賣上稅ノ實施ヲ私ハ  
希望シタノデアリマスガ、其ノ當時ノ  
政府當局ノ御答辯デハ、技術上困難デ  
アル、仍テ尙研究ヲスルト云フヤウナ  
御答辯ヲ戴イタノデアリマス、然レニ  
其ノ後物品稅ノ形ニ於キマシテ、賣上  
稅ノ一部ガ行ハレテ居ルヤウニ考ヘマ  
スルガ、之ヲ一歩進メテ將來賣上稅ノ  
實施ヲ強行セラル、ト云フヤウナ御考  
ハ御アリニナリマセヌデゴザイマセウ  
カ、併セテ伺ヒタイト存ジマス

アリマシテ、今日此ノ分類所得稅ノ課  
率ノ引上ト云フモノガ、此ノ直接稅中  
ノ大勢ヲ決スル體デアリマス、間接稅  
ト致シマシテ考ヘラレマスコトハ、今  
アナタノ御述ニナツタ賣上稅ニ、今日  
ノ消費稅或ハ程度纏メルカドウカト云  
フ、斯様ナ面ニ懸ツテ居ルト思フノデ  
アリマス、賣上稅ハ食糧ニ課稅ヲ致スカ  
ドウカト云フコトガ一ツノ大キナ問題  
デアリマス、食糧ニ課稅致シテ居リマ  
ス所ハ、極メテ賣上稅ノ大キナ收入ヲ  
擧ゲテ居ルノデアリマスガ、今日ノヤ  
ウナ段階ニ於テ、食糧ニ賣上稅ヲ課ス  
ルト云フコトモ、私ハ極メテ慎重ニ考  
ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、  
寧ロ主要食糧ニ賣上稅ヲ課スルト云フ  
コトハムツカシイト考ヘタ方ガ宜イ  
ト思フノデアリマス、サウ致シマスル  
ト後ハ物品稅其ノ他ノ始末ニ相成ツテ  
來ルノデアリマスガ、物品稅ニ致シマ  
シテモ、今年ハ少カラザル減收ヲ示  
シテ居ルノデアリマス、酒ノ稅金モ減收  
砂糖ノ稅金モ減少、織物消費稅モ減  
收ト云フヤウナコトニ相成ツテ來テ居  
ルノデアリマスノデ、今日ノ此ノ段階  
ニ於キマシテ賣上稅ニ、若シ食糧ニ課  
稅ヲ致サナイトスルナラバ、大シタ收  
入ヲ期シ得ラレナイノデアリカト思  
フノデアリマス、若シ物品稅ヲ改正シ  
テ、ソレデ賣上稅ノ一部トシテ施行ヲ  
致スト云フコトヲ考ヘルノデアリナラ  
バ、左様ナ考ヘ方ハ出來ルト思フノデ  
アリマスガ、ドウモ今日ノ狀況ニ於キ  
マシテハ、私ハ賣上稅ニ大シタ期待ヲ  
持テナイノデアリカ、若シ將來增稅  
ヲ行フコトアリトスレバ、矢張り稅制  
ニ相成ルベキモノデアリカト考ヘテ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 直接稅ノ  
中心トシテ考ヘラレルモノガ分類所得  
稅デアルコトハ、全ク御同意デアリマ  
シテ、將來更ニ增稅ノ考ヘラレマス場  
合ニ於テハ、矢張り私ハ今日分類所得  
稅ノ中心ニシテ考ヘラレベキモノデア  
ルト存ジテ居ルノデアリマス、其ノ點  
ハ稅收入カラ言ツテモ至ク其ノ通りデ

○子爵梅園篤彦君 段々御說明ヲ伺  
ヒマシテ、大體承テ致シマシタガ、本  
增稅案ニ依リマシテ十八億餘萬圓ノ増  
收ガアル譯デアリマスルガ、昨年末ノ日  
銀ノ銀行券ノ發行高ハ百七十億圓ニ達シ  
テ居リマス、而モ其ノ貸出高ハ十二億餘  
萬圓ト云フヤウニ記憶致シマスルガ、之  
ガ爲ニ金ガダブツイテ居ル譯デアラウカ  
ト思ヒマス、之ニ對シマシテ本增稅案ニ  
依ツテ十八億餘萬圓バカリノ增收ヲ得  
ルト云フコトハ、誠ニ結構デハゴザイマ  
スルガ、尙物足ラナイヤウニ考ヘルカ  
次第デアリマス、又本增稅案ニ依リマシ  
テ浮動購買力ノ吸收、新興階級ノ收入  
ノ回收ト云フコトガ、果シテ十分ニ行  
ヘルカドウカト云フ點ニ付テ、實ハ不  
安ヲ懷イテ居ルモノデアリマス、先程  
大藏大臣ハ自由労働者ニ源泉課稅ヲヤ  
ツテ、五千萬圓ノ目標デアツタモノガ一  
億圓ノ實際ハ成績ヲ擧ゲタト云フヤウ  
ニ伺ヒマシテ、大イニ意ヲ強ウハ致シ  
テ居リマスガ、ドウモ十分ニ行カヌノデ  
ヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリ  
マス、仍テ結局本增稅案モ結構デアリ  
マスルガ、此ノ際思ヒ切ツテ、對物政  
策ニ思ヒ切ツタ施策ヲ施ス必要ガアリ  
ハシナイカト云フヤウニ考ヘルモノデ  
アリマス、結局此ノ際伺ヒタイト思ヒ  
マスルノハ、浮動購買力ノ吸收並ニ新  
興階級ノ收入回收ガ、本案ニ依ツテ十  
分ニ達成セラル、ト云フ御確信ガアリ  
マスルカドウカト云フ點ト、次ニ閣ノ  
橫行ノ甚ダシイ此ノ際ニ於キマシテ寧  
ロ思ヒ切ツタ對物施策ヲ斷行致シマシ  
テ、惡性「インフレーション」ヲ防止スル  
ト云フ必要ガアルト考ヘルノデアリマス  
ルガ、此ノヤウナ觀點カラ思ヒ切ツタ對  
物施策ヲ採ラレル必要アリト御考ニ  
ナリマスルカドウカ、又近キ將來ニ於キ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 直接稅ノ  
中心トシテ考ヘラレルモノガ分類所得  
稅デアルコトハ、全ク御同意デアリマ  
シテ、將來更ニ增稅ノ考ヘラレマス場  
合ニ於テハ、矢張り私ハ今日分類所得  
稅ノ中心ニシテ考ヘラレベキモノデア  
ルト存ジテ居ルノデアリマス、其ノ點  
ハ稅收入カラ言ツテモ至ク其ノ通りデ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 直接稅ノ  
中心トシテ考ヘラレルモノガ分類所得  
稅デアルコトハ、全ク御同意デアリマ  
シテ、將來更ニ增稅ノ考ヘラレマス場  
合ニ於テハ、矢張り私ハ今日分類所得  
稅ノ中心ニシテ考ヘラレベキモノデア  
ルト存ジテ居ルノデアリマス、其ノ點  
ハ稅收入カラ言ツテモ至ク其ノ通りデ

マシテ、サウツタ思ヒ切ツタ對物政策ノ御實行ニナル御意思ハアリマス...

○國務大臣(石渡陸太郎君) 此ノ稅制ノ施行ニ依リマシテ、新興階級方面ニ...

對シテ十分ノ確信ガアルカ、又浮動購買力ヲ吸收スルノ十分アルカ、斯ウ云フ御尋テアリマスガ、此ノ増稅ニ...

カ、勞務ノ問題デアリマストカ、色々ナ問題ガ此處ニ來テ居ルノデアリマシテ、...

○委員長(伯耆林博太郎君) ソレデハ、外ニ一般ニ付テノ御質問モゴザイ...

マセヌヤウデスカラ チョット私、御尋ネシタイト思ヒマス、少シの外レルカモ知レマセヌデスガ、...

ニ要スル資金ヲ取ル、殘高ガ一般消費ノ生活資料ト、...

○子爵梅園篤彦君 大藏大臣カラ總御懇説ナル御説明ヲ戴キマシテ、...

了承テ致シマシタ、向一二伺ヒタイ點ガゴザイマスルガ、此ノ程度テ私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス...

シ、増加シナケレバナラヌモノデアルト思ヒマス、サウスルト殘ツタモノノ...

○國務大臣(石渡陸太郎君) アナタノ仰シヤル通り、國民所得ノ問題ニ付テ...

ハ色々ナ假定未、知數ガ含メテ居ルコト、仰セノ通りデアリマス、ソレデ斯クノ如キ國民所得ノ根柢カラ致シマシテ、...

ト云フモノハ、是ハ別途ヤツテ居ルノデアリマスガ、一應資金ト云フモノハ、...

○委員長(伯耆林博太郎君) 斯ウ云フハ、外ニ一般ニ付テノ御質問モゴザイ...

マセヌヤウデスカラ チョット私、御尋ネシタイト思ヒマス、少シの外レルカモ知レマセヌデスガ、...



デ生活ヲシテ行ケルモノデアアルカ、又國民生活ノ最低限ト云フモノハ凡ソ幾ラ位ノ見込ニシタラ宜イカ、斯様ニ調査ハ目下調査員本部ニ於テ、大藏男爵ヲ會長ニ致シマシタソコニ於テ是等ノ國民ノ生活基準ニ幾ラ必要デア

ルカト云フヤウナ調ハ致シテ居ルト思フノデアリマスガ、是ハ一應ノ國民所得ノ粹ト國家産業資金、又ソレガ民間デ幾ラ位生活ニ必要デアアルカト云フ大體ノ粹ヲ決メタモノデアアル、斯様ニ御承知置テ戴イテ置イテモ宜イカト思フノデアリマス

○三浦新七君 其ノ點デゴザイマス、所謂物動計畫其ノ他ノ方ニ於テ出來テ居ルノダ、斯ウ云フノナラバ我々ハ安心シテ行ケルノデアリマスガ、是迄モサウナンデゴザイマセウガ、大藏省關係ノ方ハ、今御話ガアツタ如クニ資金ガドウ動クカ、金ガドウ動クカト云フコトガ中心問題ニナツテ居リマシテ、ドウモ後デ物ノ方デ補フト云フ程度デアツタト云フ工合ニ聞イテ居リマス、而シテ國民所得ヤナンカノ調査ニ於テハ、各個ノ懷中ニ何ボ入ルカト云フ是迄ノヤリ方ニ、ソレニ物ノ關係ヲ後デ以テ附加ヘテ加減スルト云フ位ニ考ヘテ、サウ云フヤウナヤリ方デセラレルト云フヤウニ來テ居ルノデアリマスガ、今日斯ウ云フヤウナ工合ニ差道ツタ場合ニ於テ、ソレヲ逆ニスル方法ヲ探ラナケレバイケナイノデハナイカ、今日モ閣下カ何ト云フ問題モアリマシテ、ナカノ金デハ、言フコトヲ肯カナイ場合ガ相當多クナツテ來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、結局大藏省デ計畫ヲ立テル場合ニ於テモ、物ノ方面カラ出發シテ、其ノ物ハ是ダケ、是ダケハ絕對ニ要スルノダト云フ方ヲ基

礎トシテ、其ノ後ノ餘裕金ヲ如何ナル方法デ回收スルカト云フコトヲ御考ニナル必要ガアルノデハナイカ、ソレヲ實ハ申上ダゲタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○政府委員(田中豐君) 只今ノ御尋ネ御尤モデゴザイマスガ、從來ノ國家資金計畫ノヤリ方モ、物ト切離シテ居ル譯デアリマセヌノデ、物動計畫其ノ他ト見合セテ居リマスガ、丁度今頃ノ時期ニ何時デモ資金計畫ヲ申上ダゲル際ニ、物ノ面ノ計畫ガマダ決ツテ居リマセヌ、後デ物ト見合セテ修正ハ致シテ居リマス、サウ云フヤウナ狀況デアリマス、御話ノ國民ノ生活資金、之ヲ物ヲ見合セテ、ドレダケ米ガ要ルカラ幾ラ要ルト云フ風ニ出シテ行ツタラドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、物動ノ方ニ於キマシテモ、國民ノ生活物資ノ計畫ト云フモノハ可ナリ遅レテ參リマシテ、年度當初ニハ、サウ云フ計畫ハ到底立テルコトハ不可能ナ状態デアリマス

○三浦新七君 細カイトコデ、ソレハ色々困難ナコトガアルノデアリマセウガ、併シ生活ノ最低限ト云フヤウナモノハ、是ハサウ動クモノデナイノデス、去年何ボデ今年ハ何ボデ、其ノ次ハ何ボデ、物動計畫ト云フ方面ノコトニ依ツテ、是ハ殆ド動カスコトガ出來ナイ數字デヤナイカト自分ハ考ヘル、モウ出來上ツテ居ル計畫デ、ソレハ無論其ノ通りデハイケマスマイガ、多少トモ現在ノ状態ト比較シテ、其ノ最低限度迄引下ゲ得ル所ノ可能性ニ付テハ、是ハ見込ガ無論入りマス、ドウシテソレダケノ最低限迄詰メテ行ケルカト云フコトニ付テ見込ニ付テハ、是ハ未知數ガ加ルコトニハナリマセウ

ガ、少クトモ懲困ツテ來タ時ニハ是ダケデ行ケルンダト云フ數字ハ、サウ毎々年毎々變ルモノデヤナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ一ツ割出セバ、國民モ時局ノ逼迫シテ居ル所ノ感ジ、又已ムヲ得ナイト云フコトデ、有ラユルモノヲ戰時必要ナル資金ノ方ニ向ケルト云フダケノ決心ガ出來ラダラウト考ヘルノデアリマスガ、是以上ハ別ニドウモ申上ダゲルコトモゴザイマセヌ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 三浦委員ニ御答ヘ致シマスガ、色々御意見御尤モノ點モアルト思フノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ、更ニ考究ヲ致スコトニ致シマス、ガ、今年茲ニ擧ゲテ置キマスル百十五億ト云フ國民消費金額ハ、昨年ト同様ノ金額ヲ擧ゲテ居ルト云フコトヲ御承知置テ戴キタイト思ヒマス、是ダケ申上ダゲテ置キタイト思ヒマス

○竹下豐次君 煙草製造ニ從事シテ居リマスル従業員ノ數ヲ男女別ニ御示シ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ臺灣ト朝鮮モ御分リデゴザイマシタラ、同時ニ御提出願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 休憩致シマシテ、午後一時三十分ニ開會致シマス

午後零時二分休憩

午後一時三十六分開會

キマス、ドウモ國民ノ戰爭ニ對スル意識ガダレテ來ルヤウナ感ジヲ持つノデアリマス、無論物心各方面カラ戰意ノ昂揚ヲ圖ルベキハ當然デアリマスガ、私ハ租稅ノ方面カラモ戰意ノ昂揚ヲ圖ルヤウナ手段ヲ講ジタラドウカト云フヤウナ考ヲ持つテ居ル一人デアリマス、其ノ方法トシテ極メテ簡單ナ考ヘ方デアリマスガ、租稅ノ負擔ノ中デ、經常的ナ分ト戰時負擔ノ分トヲ區分スルト云フヤウナ表示ヲシタラドウカト云フヤウナ考ヘテ持つテ居ルノデアリマス、無論租稅ハ所謂目的稅ト云フヤウナモノガ今日ハナイノデアリマ

ス、從ツテ收入トシテ入りマシタモノハ皆一ツノ「プール」ニ入レテシマツテ、ソレカラ適宜ニ支出ノ方ニ向ケルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、併シナガラ戰時ニ是ダケ負擔シテ居ルト云フコトヲ明カニスルト云フコトガ、是ハ其ノ面カラ見マシテモ、戰意ノ昂揚ニ非常ニ役ニ立ツコトデハナイカ、詰リ若シ出來マシレバ何か特殊ノ戰時稅ト云フヤウナモノガ課シテアツタカト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナモノデモ宜シシ、又同ジ例ヘバ分類所得稅ノ中ニ、一定額ハ平時負擔額、一定額ハ戰時負擔額ト云フヤウナ工合ニ表示シタラバ、戰爭ニ對スル國民ノ意識ト云フモノガ其ノ面カラモ昂揚サレルノデハナイカト云フヤウニモ考ヘテ居ル、何かサウ云フヤウナ方法ニ依ツテ將來此ノ増徴ヲ圖ル上ニ於テ御考ヲ置カレルヤウナ御意思ハアリマセヌカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 租稅ノ増率ノ分ハ、殆ド全部戰時稅デアリスマコトハ御示シノ通りデアリマス、其ノ中ノ一部ヲ以テ戰時稅ト表示シタラドウ

カト云フ御説デアリマス、日露戰爭ノ時分ニハ戰時稅ト銘打ツタカト私モ覺エテ居ルノデアリマス、能ク一ツ左様ナコトノ實行ノ仕方ニ付テハ考ヘテ見タイト存ジマス、ナカノ手數ヲ要スル點モアリマスノデ、色々世ノ中デモ言ツテ居ル問題モアリマスカラ、今日煙草ニ平時定價ガ幾ラ、戰時負擔額幾ラトアスコニ書イテアリマスガ、アレダケデモ保ノ方デハナカノ手數ガ掛ルカラ止メヨウカト云フヤウナ議論モ今起ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、煙草ノ方ハ當分アノ儘ニ致シマシテモ之ヲ一々納稅者ニ分カラセルダケノ表示ヲ致スト云フコトハ、相當ニ手數ヲ要スルカト思ヒマス、御趣旨ノ點御尤モノ點モアルト思ヒマスノデ、能ク一ツ考ヘテ見タイト思ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 下條君ニテヨツト御話ヲ致シマスガ、大臣ハ三十分間位オイデニナツテ、御用ガアルサウデアリマスカラ、其ノ御積リデ

○下條康君 極メテ簡單デゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 宜シウゴザイマス

○下條康君 其ノ次ニ伺ヒタイトハ、今回法人ノ申告納稅制度ト云フモノガ御提案ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレト極メテ似タヤウナ構想デアリマスガ、實ハ先般貴族院ノ財政金融調査委員會決定シタ案ノ中ニアル事項デアリマスガ、ソレニ付テ一應ハ大臣ノ御意見モ伺ツタノデアリマスガ、尙盡サス所モアルヤウデアリマスカラ伺ヒタイト思ツテ居ルノデアリマス、一ツハ當テ「ドイツ」デ行ヒマシタ租稅證券ノ如キモノヲ出シタラバ、納稅ノ獎勵ノ上ニモ宜シシ、又色々

心配サレテ居ル所ノ「インフレーション」對策ノ一ツトシテ適當デハナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、先般大藏大臣が調査會ノ會合ノ席デモ何カ「ドイツ」ノ場合ガ失敗シタヤウナ御話ガアツタノデアリマス、私ハ左様ニハ思ツテ居ナイノデアリマス、丁度戰前千九百三十九年ノ春頃ニ計畫サレテ、約半年位デ廢メニナツタノデアリマスガ、戰爭ニナツテ翌月位ニ確カ外ノ方法ニ依ツテ、財政金融ヲヤルト云フヤウナコトヲヤリ、此ノ制度ハ廢シタト思ヒマスガ、ナカノ「面白イ計畫デアツタヤウデアリマス、此ノ證券ヲ或期間使ハナケレバ、ソレガ相當有利ニ支拂ニ役立ツト云フヤウナコトノヤウデアリマス、一面無論ソレハ購買力ノ方ノ、今度増稅ノ一面ノ目的デアル購買力ヲ多クシナイト云フ面ニ役立ツカト思フノデアリマス、サウ云フコトニ付テ、如何御考ニナツテ居ラレマスカ、ソレカラ尙今回御計畫ニナツタ法人五百萬圓以上ノ法人ノ納稅申告制度ニ似テ居ル考ヘ方デアリマスガ、例ヘバ政府ノ支拂金ノ中デ、凡ソ租稅金額ヲ見立テマシテ、ソレヲ豫メ差引クト、丁度法人所得稅ノ源泉課稅ノヤウナ恰好デ、サウ云フヤウナコトヲシタナラバ、同ジヤウニ今ノ購買力ノ増加ヲ心配サレテ居ルヤウナ「インフレーション」ノ方ノ關係カラモ宜シ、手數カラ申シマシテ、誠ニ簡單デアリス、サウシテ今日御提案ニナツタ趣旨ト同ジヤウナ考ヘ方デアリカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ如何御考ニナリマスカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 租稅證券ノ問題ニ付キマシテハ、或ハ私ヨリ政府委員ノ方が能ク存ジテ居ルカト思フ

ノデアリマスガ、私ノ承知致シテ居ル所デハ、即チ先ノ稅金ヲ取ル、今年ノ稅率デ、是ダケノ稅金デハ少イカラ、翌年ノ稅金モ租稅證券ヲ納メサセルト云フ意味合ニ於テハ、相當ニ效果ガアツタノデアリマス、或ハ租稅證券等ニ依ツテ幾分割引イタモノデ、翌年度ノ稅金差出サセルト云フコトモ、「インフレーション」ヲ防止スルト云フ意味合ニ於テハ、相當效果ガアルト思フノデアリマスガ、併シナガラ相當負擔ガ重クナツテ居リマス今日ニ於テ、今年ノ稅ヲ出サセルト云フコトスラナカナカ容易デナイ際ニ、更ニ翌年ノ稅金差納メサセルト云フコトハ、實際問題トシテハナカノ、實行ガ行ハレナイノデアリマスガ、左様ナ意味合ニ於キマシテ、マ「ドイツ」ニ於テモ戰爭ノ始ツタカ始マラヌ當時ニ實行シテ見タガ、戰時稅率ガ重クナツテ來タ所デ、斯ノ如キコトヲヤツテハ實效ガ擧ラナイト云フコトノ下ニ中止ヲ致シテ今日ニ及ソデ居ルヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、私ノ承知致シテ居ル所ガ相違ガゴザイマシタナラバ、政府委員カラ訂正ヲ致スコトニ致シタイト存ジマス

○下條康慶君 今ノ御答ノ中ニ漏レテ居リマシタガ、政府支拂金ノ中カラ、租稅證券ニ非ズシテ現金ヲ、租稅トシテ支拂フベキ現金ヲ差引クト云フコトハ如何デスカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 政府ノ支拂ノ中カラ稅金トシテ現金ヲ引クト云フコトハ、今日政府ノ拂ヒマス人件費ニ付キマシテハ、分類所得稅ハ引イテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアルト思フノデアリマスガ、下條委員ノ仰セ

ニナリマスノバ、更ニ物件費ニ於テモ引イタラドウカト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマセウカ

○下條康慶君 大體是ハ人件物件ヲ通ジテ、詰リ今回御提案ニナツタ法人ノヤウナ場合ニ適用スベキデアアルカト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 人ノ俸給ニ付キマシテハ、法律ニ於テ差引イテ居リマスコト御存ジノ通りデアリマスガ、物件費ニ付テハ幾ラ引クノカ、ドウモ引キ方モナイヤウデアリマスノデ、實ハ其ノ儘拂ツテ居ル次第デアリマス、何トカ考ヘテ、良イ引キ方デモアリマシタラ、實行致シテモ差支ヘゴザイマセヌガ、只今ノ處、ドウモ宜イ案ガ見附カリマセヌノデ、其ノ儘拂ツテ居ルヤウナ次第デアリマス

○下條康慶君 大體前三年位ノ租稅ノ金額ヲ見立テマシテ、サウシテ政府支拂金ノ中カラ稅金ニ該當スル分ヲ差引クト、其ノ中ニハ無論人件ノモノモアレバ物件ノモノモアル、更ニ其ノ差引イタ金額ニ過不足ガアレバ、後デ是正スルコトハ今回ノ提案ノ通りデアリマス、何カサウ云フ方法ガアレバ餘程此ノ政府放出金ノ緊縮ガ出來ルノデアナイカト考ヘマスガ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 此ノ物件費ニ付キマシテハ、ナカノ「ムツカシイヤウニ思フノデアリマス、尙能ク御趣旨モアリマスノデ、一ツ研究致シテ見タイト思ヒマス

○下條康慶君 ドウゾ御研究願ヒタイト思フノデアリマス、尙先國民所得ノ問題ニ付テ、色々御質問ガアツタノデ、私モ同ジヤウナ考ヲ持ツテ居リマスノデ、重ネテ此處デハ御尋ネ致シマセヌガ、唯此ノ國民所得ノ計算

ト云フモノハ非常ニムツカシイモノデアリマス、私共モ嘗テ計算シタコトガアリマスガ、ムツカシイ問題デアリマス、昨年私、此ノ消費資金ニ付テ自分デ計算致シマシタガ、消費資金ノ計算方法ニ付テハ現在配給制度ニナツテ居ル關係デ、一應配給ニ依ル消費資金ト云フモノノ計算ハサウ困難デモナイカト思フノデアリマス、ソレデ無論サウ云フ計算ガ出タカラ、ソレデ押スト云フノデハナクテ、全體カラ又消費資金ヲ幾分か切下ゲテ來ルコトモ起ルト思フノデ、先ツサウ云フ計算方法ニ依ツテ消費資金ヲ御出シニナツテ、全體トノ振合ヲ取ルト云フ方法デ御計算ニナルベキモノデアアルト思フノデアリマスガ、大藏省デモサウ云フ方法デ計算サレテ居ルカト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニヤツテ居ラレルカ、念ノ爲ニ伺ツテ置キタイノデアリマス

○政府委員(山際正道君) 只今下條委員ノ御尋ノゴザイマシタ點ハ、丁度昨年ノ議會ニ於キマシテ同様ノ御指摘ガゴザイマシタ、當局ト致シテモ誠ニ御尤モナコトト思ヒマシタノデ、努メテ其ノ方法ヲ併用致シテ一方生産統計ニモ依リマスシ、又特別ノ計數モ參考トシテ國民所得ノ計算ヲ致スヤウニ心掛ケテ居ルノデアリマス、何分唯御指摘ガアリマシタヤウニ御示シノ方法ハ非常ニ調査ガ困難ナ點ガアリマスノデ、努メテヤツテ居リマセウカ

○橋本辰二郎君 私モ國民所得ノ問題ニ關聯シテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、ソレハ國民所得中勤勞ニ依ル所得

ヲ幾許ト見積ラレテ居ルカト云フコトデ、國民所得ハ今回九百億ト云フコトヲ發表サレタノデアリマスガ、是ハ前戰ニ比較致シマスルト、誠ニ長足ノ進歩ト云フヨリモ、寧ロ急激ナル増額デアリマス、是ハ併シ國ノ爲ニハ誠ニ結構ナコトデアリマス、此ノ國民所得ヲ構成スル分子ハ多種多樣デアアラウト思ヒマス、之ヲ細分致シマス、數百種ニモ上ルコトト思ヒマスガ、私ノ考トシテハ大體把ニ見テ資本、所得及勤勞所得ノ二種類ニ分類スルコトハ左程困難デハナイカト考ヘマス、無論勤勞所得ト申シテモ、筋肉勞働及頭腦動作ト云フモノヲ含ミ、又資本所得ト申シテモ事業所得ノ之ニ含ムノデアリマスガ、事業所得ノ如キモノハ申ス迄モナク資本ト勤勞トノ統合シタル所ノ結晶デアリマスケレドモ、之ヲ敢テ又資本所得ト申シテモ必ズシモ納稅相容レザルモノデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ大體ニ於テ勤勞所得ガ幾許、其ノ中ニ筋肉勞働者ノ所得ガ幾許ト云フコトガ御分リニナツテ居リマスナラバ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、無論國民所得九百億ト云フコトヲ彈キ出サレマシタノデ、其ノ内容ニ付テハ十分御承知ノコトデアアルシ、又大藏省ニハソレノ「専門家」方モ居ラレマセウカラ、大臣カラデモ政府委員カラデモ其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヘバ結構ト存ジマス

○政府委員(山際正道君) 只今大藏省ニ於キマシテ國民所得ヲ算出致シテ居リマス方法ハ、勿論物的ノ方法ト人的ノ方法ヲ併用致シテ、其ノ推定ヲシテ居ルノデゴザイマスガ、主トシテヤツテ居リマス方法ハ、生産統計ヲ基礎ト致シテ生産物ノ價格ノ方カラ、ソレガ

○橋本辰二郎君 國民所得ノ問題ニ關聯シテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、ソレハ國民所得中勤勞ニ依ル所得

ヲ幾許ト見積ラレテ居ルカト云フコトデ、國民所得ハ今回九百億ト云フコトヲ發表サレタノデアリマスガ、是ハ前戰ニ比較致シマスルト、誠ニ長足ノ進歩ト云フヨリモ、寧ロ急激ナル増額デアリマス、是ハ併シ國ノ爲ニハ誠ニ結構ナコトデアリマス、此ノ國民所得ヲ構成スル分子ハ多種多樣デアアラウト思ヒマス、之ヲ細分致シマス、數百種ニモ上ルコトト思ヒマスガ、私ノ考トシテハ大體把ニ見テ資本、所得及勤勞所得ノ二種類ニ分類スルコトハ左程困難デハナイカト考ヘマス、無論勤勞所得ト申シテモ、筋肉勞働及頭腦動作ト云フモノヲ含ミ、又資本所得ト申シテモ事業所得ノ之ニ含ムノデアリマスガ、事業所得ノ如キモノハ申ス迄モナク資本ト勤勞トノ統合シタル所ノ結晶デアリマスケレドモ、之ヲ敢テ又資本所得ト申シテモ必ズシモ納稅相容レザルモノデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ大體ニ於テ勤勞所得ガ幾許、其ノ中ニ筋肉勞働者ノ所得ガ幾許ト云フコトガ御分リニナツテ居リマスナラバ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、無論國民所得九百億ト云フコトヲ彈キ出サレマシタノデ、其ノ内容ニ付テハ十分御承知ノコトデアアルシ、又大藏省ニハソレノ「専門家」方モ居ラレマセウカラ、大臣カラデモ政府委員カラデモ其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヘバ結構ト存ジマス

○政府委員(山際正道君) 只今大藏省ニ於キマシテ國民所得ヲ算出致シテ居リマス方法ハ、勿論物的ノ方法ト人的ノ方法ヲ併用致シテ、其ノ推定ヲシテ居ルノデゴザイマスガ、主トシテヤツテ居リマス方法ハ、生産統計ヲ基礎ト致シテ生産物ノ價格ノ方カラ、ソレガ

○橋本辰二郎君 國民所得ノ問題ニ關聯シテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、ソレハ國民所得中勤勞ニ依ル所得

所得ニ還元サレテ行ク計數ヲ求メテ居ルノガ主ナリデアリマス、從ヒマシテ更ニソレヲ分析シテ御示シノ資本所得ガ幾ラ、勤勞ニ屬スベキ所得ガ幾ラト云フヤウナ内譯モ致スベキデアリマスガ、實ハ其處迄手ガ届イテ居リマセヌノデ、現在ノ所デハ、物ニ現レマシタ價格ノ方面カラ所得ヲ推定シテ居ルト云フ段階デアリマシテ、的確ナ所ハチヨツト申上ダ兼ネル次第デアリマス、唯御話ノアリマシタ通り、最近ノ經濟情勢カラ致シマシテ、勤勞所得ノ部分ガ増加シツ、アルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ租稅ニ關スル各種ノ統計ヲ見マシテモ、從前トハ違フコト云フコトハ申ス迄モナイコトデアルト存ジマス

○橋本辰二郎君 私人ハ此ノ勤勞所得ガ幾許ト云フコトガ分ラナケレバ、此ノ資金計畫ハ立タナイト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、今日ノ納稅者ノ位置ト云フモノハ、非常ニ變ツテ來テ居リマス、過去ニ於テ主トシテ租稅、就中所得稅ノ負擔ヲスルモノハ中産階級以上デアツタノデアリマス、然ルニ中産階級ノ大部分ハ企業統制其ノ他ニ依ツテ、殆ド其ノ擔稅力ヲ失ツテ居ルノデアリマシテ、先程カラ本席ニ於キマシテ度々論議セラレルヤウニ今ヤ國民所得ノ主要部分ヲ占メルモノハ、新興所得階級ニ屬スルモノト思フノデアリマス、是等ノ者ノ所得額及ビ是等ノ者ヨリ吸收爲シ得ベキ所ノ浮動購買力ト云フヤウナモノガ計算ニ上ラナカッタナラバ、私ハ完全ナル資金計畫ト云フモノハ立タヌデアリカウカト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、大臣ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡巖太郎君) 完全ナル資金計畫ト云フコトハ、是ハ中々難シイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、昨年モ一昨年モ、産業資金ニ付テモ恐ラクハ六十億位實際出テ居ルノデアアルマイカト云フコトヲ申上ダゲテ居ルノデアリマシテ、六十億ト云フノデアリマスカラ、一面正確ナモノヲ決メテハナハ、大體ノ政府ノ梓ト云フモノヲ決メテ居ルコトデ、斯クノ如キコトヲヤツテ居ル次第デアリマス、之ヲ正確ナモノヲ算出致スト云フコトデアリマシタラ、三年掛ツテモ四年掛ツテモ、ナカノムツカシイコトデアリマス、大體今日ノ實勢ニ於テ大體此ノ邊ノ程度ト云フコトデ、斯ウ云フ風ナ計畫ノ下ニ政府ノ施策ヲ進メテ居ル譯デアリマシテ、仰シヤル通りサウ之ガ正確デアルト云ツテ保證ヲ致ス譯ニモ行カヌ數字デアリマス

○橋本辰二郎君 然ラバモウ一點伺ヒタイノデスガ、此ノ増稅案ニ依リマシテ浮動購買力ヲ幾許吸收スルト云フ御見込ヲ御立テニテ居ラレノデアリマスカ、例(バ入場料)如キモノ、又ハ其ノ他飲食糧草ノ値上、ソレ等ニ依リマシテ、凡ソ勤勞所得階級ヨリ吸收爲シ得ベキ金額ハ、此ノ増稅計畫ノ中ニ幾許含まレテ居ルト云フ御見込デアリマセウカ

○國務大臣(石渡巖太郎君) 總額ハ申上ダゲタ通りデアリマシテ、入場稅ニ付テ一億三千萬圓、糧草ハ六億九千萬圓、又通行稅ハ一億三百萬圓、酒ノ稅ハ七億圓ト云フヤウナ振當ニ相成ツテ居リマス、ソレダケ浮動購買力ヲ吸收致ス、斯様ナコトニ相成ツテ居リマシテ、御尋ガ其ノ入場稅一億三千萬圓ノ中ニ、浮動購買力ト見做サルベキ勤勞

者カラ取上ゲル金ガ幾ラアルカト云フ、斯ウ云フ御尋デアレバ左様ナ調査ハ不可能デゴザイマスノデ持ツテ居リマセヌ

○橋本辰二郎君 私人ハ、大體ニ於キマシテ國民所得ノ中約三分ノ一ハ筋肉勞働者ノ所得デハナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是等ノモノカラ相當額ノ浮動購買力ヲ吸收スルノデナカッタナラバ、資金計畫ト云フモノハ完全ニ行ハレナイモノダ、又課稅ノ目的モ達成ガ出來ナイト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマスガ、今日ノ質問ハ此ノ程度ニシテ、他ノ機會ニ於テ又重ネテ御尋不致スコトニ致シマス

○佐々木長治君 私人ハ是ハ或ハ内閣ノ問題カトモ考ヘマスガ、御尋不致シタイノハ、國民ノ最低生活ヲ國家ガ配給ニ依ツテ完全ニ確保シテ行クト云フ、内閣バカリデナク、殊ニ大藏大臣ノ財政上ノ立場カラ一ツ御意思ガアルデアリマセウカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、大臣ノ御説明ニ依リマシテ國民所得ガ九百億アル、國民生活ニ百二十五億當テ、斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、サウシマスト大體各階級ニ依ツテ種々違ツテ參リマスケレドモ、大體收入ノ一割四分デ生活スル、此處デ假ニ二百圓ノ月給取ガアリマシテ、一割四分デ家族五人アツタトシテ、果シテ之デ生活出來ルカドウカト云フコトハ常識ノ問題ニナルノデアリマス、今回ノ増稅ナリ、又糧草ナリ酒ナリノ値上カラ、自然條給生活者ノ收入ヲ何カノ方法デ増額シテヤラチケレバイケナイト云フ問題モ出テ來ヤセヌカト思ヒマス、即チ稅ヲ以テ政府ガ浮動購買力ヲ吸收シヨウトシテ、又浮動購買力ヲ一面ニ殖ヤサナケレバナ

ラナイト云フ問題ガ出テ來ヤシナイカ、現ニ官吏ノ優遇案ト云フコトモ御考慮ニナツテ居リ、問題ニモナツテ居ル譯デアリマス、是ハ私ハ「インフレーション」ノ問題カラ申シマシテモ、何カラ申シマシテモ、國家ガ國民生活ノ最低限ヲ完全ニ配給ニ依ツテ保障スルナラバ、一面ニ現在人道ノ問題デアルトカ色々ナコトガ考慮サレテ、檢事ナリ警察官ガ闇ノ防止ニ付テ全力ヲ擧ゲ得ナイノデアリマス、或程度大目ニ見カイト云フト、人間ノ生活ガ出來ナイヤウニナツテシマヒマスノデ、國家ガ初メテ完全ニ、配給生活デ最低限ノ保障ヲスル、或ハ共同炊事ヤル、サウ云フヤウナコトハ國民トシテハ既ニ覺悟ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ國民カラ申シマシテ、強力ナ政治ト云フコトモ期待致シテ居ルノハ、最低限度ノ生活ヲ保障スルコトニ依ツテ、如何ナル方面ニ付テモ國民ハ戰力増強ノ上ニ働ク、斯ウ云フ確乎タル意思ガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ闇ヲ全力ヲ擧ゲテ防遏スルニ非ズンバ、國民ノ財政生活ト云フモノハ成リ行キダト云フ感ジガ殖エヤセヌカト思ヒマス、葉書ニシマシテモ、矢繼ギ早ニ上ツテ居リマス、電報料ニシテモ糧草ニシテモ上ツテ來ルシ、モウ御互ノ生活ハ成リ行キダ、確乎タル計數ニ依ツテ貯蓄ヤツテ行クト云フヤウナ眞面目ナ生活ガ崩壞サレルヤウナ虞ガアリハシナイカト云フコトガ心配サレマス、又政府トシテモ折角増稅デ健全財政ヲ御圍リニナリマスガ、若シ國民ノ最低生活ヲ保障シテ闇ヲ完全ニ防遏スルナラバ、恐ラクハ增稅金額以上ニ豫算ノ上ニ於テ儉約ガ出來ルノデヤナイカト察セラレ、勿論今日ノ段階ニ於キマシテ、私

ハ何カ強力ナル政治ヲスル上ニ於テ、國民ノ最低生活ヲ配給ニ依ツテ保障シテ闇ノ完全ナ防遏ヲ斷乎トシテ行フ、是ダケノ御勇氣ガドウシテモ出來ナケレバナラナイト、私ハ竊ニ期待致シテ居ルノデアリマス、是ハ内閣ノ問題デモアリマセウ、又大藏省ノ御問題トシテモ、「インフレーション」ニ對スル問題、其ノ他ノ問題カラ考ヘマシテモ、其處ヘドウシテモ到達シナケレバイカヌノデヤナイカ、之ニ對シテ、ハツキリ大臣ノ御意向ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡巖太郎君) 配給ニ依ツテ國民生活ヲ確保致シマスコトハ、是非左様ナコトニアリタイ、望マシキコトデアリマスコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、唯今日ノ現狀ニ於テ、殊ニ大都市ノ現狀ニ於テナカノ配給ノミヲ以テシテハ十分ノ生活ガムツカシイト云フコトハ、非常ニ遺憾ナコトデアリマスシ、要シマスルニ斯クノ如キコトハ食糧ガ不足勝チデアリマスカラ、左様ナコトニ相成ルノダト思ヒマスノデ、政府ト致シマシテ、既ニ數年前ヨリ食糧増産ニハ隨分力ヲ盡シテ居ルノデアリマスガ、各種ノ條件ガアリマシテ、是ガナカノ達成致サレカイトデアリマス、只今モ色々ナ方面カラシテ、食糧増産ノ問題ニ付テハ、政府ト致シマシテモ相當豫算ニモ計上致シ、又獎勵金ヲ以テ支出致シテ居ルノデアリマスガ、來年度ニ於テハ、甘藷ノ大増産ヲヤラウト云フコトヲ目下計畫致シテ居リマスコトモ、要スルニ配給生活ヲ確保致サウ、斯ウ云フ所カラ來テ居ルト思フノデアリマス、色々「インフレーション」ノ諸問題モ、矢張り此ノ配給問題ニ關係致シマス所、仰シヤル通り極メテ重大デアルト思フノデアリマ

一

ス、一ツ線デハナカノ、ウマク行カヌノデアリマシテ、増稅モ通貨ヲ吸收シテ全面的ニ物價ノ騰貴ヲ抑ヘヨウト致シマスル一ツノ効果ハアルト思フノデアリマス、増稅ガ物價騰貴ノ原因ニナルト云フ御話モアリマシタガ、私ハ寧ろ物價ヲ上ゲマイトスル所ノ效果ガ、アルト思フノデアリマスガ、是ダケデハイカヌノデアリマシテ、矢張り今仰シヤツタヤウナ配給ヲ生活シテ行ケルト云フヤウナコト、又其ノ他運送ノ問題ニシマシテモ、自由勞務者ノ勞賃ノ問題ニ致シマシテモ、色々ナ問題ガアルト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ各般ノ手ガ打タレテ行カケレバ、イカヌト思フノデアリマス

○佐々木長治君 マダ日本ノ國民ガ飢餓ニ迫ツタト云フコトハ聞イテ居リマセヌノデ、全體カラ申シマスルナラバ、現在ノ増產状態ニ於テモ、配給デ國民生活ノ最低限ヲ確保出來ルノデヤナイカト私ハ考ヘマス、唯政府ガ其處迄ノ大決心ヲナサレカナラヌカノ問題デヤナイカト考ヘマス、殊ニ全部ノ國民ガ稍、同ジヤウニ、勿論場所々々ニ依ツテ食糧ガ違ヒマスルノデ、公平ト云フコトハ絕對ニ出來マセヌシ、又公平ニシテハ大變ナ失敗ニナリマスカラ、所ニ依ツテハ違ヒマセウケレドモ、公開シテ生活ヲ皆ヤツテ行クト云フコトニナリマスルナラバ、戰力増強ノ上ノ國民ノ覺悟モ大變違ツテ參リマスシ、却テソレニ依ツテ食糧ノ増產モ出來ヤセヌカト考ヘマス、私ハ寧ろ其處迄内閣ガ御決心下サルコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 竹下君ハ、大臣デナケレバ、イケマセヌカ

○竹下豊次君 ドナタガ居ラツシヤイ

マセウカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 主稅局長ガ居ラレマス

○竹下豊次君 酒ノ醸造ノコトニ付テ御伺ヒ致シタイノデスガ、必ズシモ大臣デナクトモ結構デゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) ドウゾ

○竹下豊次君 私人御尋ネ致シタイノハ、米デ以テ酒ヲ醸造スルト云フコトヲ止メテ、合成酒ナリ、或ハ果實酒ヲ以テ之ニ代ヘルト云フコトガ、此ノ際是非トモ必要ナコトデヤナイカ、斯様ニ考ヘマスルノデ、此ノ點ニ關シマシテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ酒ヲ嗜ム人ハ相當ニ多イノデアリマスルカラシテ、絶對ニ酒ヲ醸造スルト云フコトヲ止メルト云フ所迄ハ主張シ得ナイノデアリマスルケレドモ、併シ米ノ問題ハ此ノ際可ナリ逼迫シタ問題デアリマシテ、米ヲ原料トスル酒ヲ醸造スルト云フ止メタルト云フコトハ、國民ノ思想ヲ緩和スル意味ニ於キマシテモ、非常ニ有效デアルト云フ風ニ考ヘルノガ一ツ、一ツハ勞務者ガ非常ニ腹ヲ減ラシマシテ、其ノ勞働ニ耐ヘナイ今日ノ状態ヲ見マスル時ニ、誠ニ氣ノ毒ニ堪ヘナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、此ノ二ツノ方面カラ見マシテ、至急ニ米ヲ以テ醸造スルト云フコトヲ止メテ戴クコトガ必要デアル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○政府委員(田中豐君) 食糧事情ガ非常ニ逼迫シテ居ル際、酒、殊ニ米ヲ以テ造ル酒ハ手控ヘテ、必要ガアレバ他ノ原料デ酒ヲ造ル、合成酒デアルトカ

○竹下豊次君 誠ニ御尤モデ

ヤウナ御趣旨ニ依リマシテ、米デ以テ造ル酒ハ非常ニ減ツテ居リマス、一時五百萬石近ク造ツテ居リマシタ清酒ガ、今日ハ百萬石ヲ少シ出ル位、四分ノ一以下ニナツテ居ルノデアリマス、從ツテ之ニ費シマス米モ其ノ割デ四分ノ一以下、昨年、本年ナドハ八十五萬石ノ米ヲ以テ清酒ヲ造ル豫定ニナツテ居リマス、斯ウ云フ風ニ米デ造ル酒ハ非常ニ激減シテ參ツテ居ルノデアリマ

○竹下豊次君 只今伺ヒマス所ニ依リマスト、米ヲ此ノ以上ニ殖ヤシテ酒ニ換ヘルト云フヤウナコトハシナイ、是ハモウ申ス迄モナイコトデアリマス、減ラセルダケ減ラシタイト云フ考ヲ御持チニナツテ居ルコトハ、一通リ想像ガ附イテ居リマス、私ガ申シマスノハ、食糧事情ガ餘リニ逼迫シテ居ル、政府筋ノ御話ニ依リマシテモ、モウ一昨年カラ言ツテ居ラレマシタガ、十九米穀年度ヨリ二十米穀年度ニ至リマス

○竹下豊次君 只今伺ヒマス所ニ依リマスト、米ヲ此ノ以上ニ殖ヤシテ酒ニ換ヘルト云フヤウナコトハシナイ、是ハモウ申ス迄モナイコトデアリマス、減ラセルダケ減ラシタイト云フ考ヲ御持チニナツテ居ルコトハ、一通リ想像ガ附イテ居リマス、私ガ申シマスノハ、食糧事情ガ餘リニ逼迫シテ居ル、政府筋ノ御話ニ依リマシテモ、モウ一昨年カラ言ツテ居ラレマシタガ、十九米穀年度ヨリ二十米穀年度ニ至リマス

イコトデアリマスノデ、出來得ル限り各種ノ雜原料、諸ガ駄目ナラバ、色々ナ澱粉原料、澱粉粕デアルトカ、其ノ他雜穀ノ實デアルトカ、彼岸花ノ球根デアルトカ、色々サウ云フ澱粉原料ヲ工夫致シマシテハ、酒ノ減少ヲ漸ク食ヒ止メテ居ル、斯ウ云フヤウナ現状デアリマス、尙最近ノ趨勢トシマシテハ、蜜柑デアルトカ、林檎デアルトカ、サウツタヤウナ果實ガ、輸送ノ困難其ノ他カラ生産地ニ於テ過剩ニナルト云フヤウナ場合モアリマスノデ、サウ云フ果實ヲ原料トシマシテ酒ヲ造ル、之ニ燃料ガ要リ、或ハ砂糖ヲ足サナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、色々ナ困難ガアリマスガ、出來得ル限りサウ云フ果實等ヲ利用致シマシテ、酒ノ減少ヲ最小限度ニ食ヒ止メル、斯ウ云フ風ニ努力致シテ居リマス、米ヲ今日以上ニ減スコトハ、食糧事情モ一方ニハアリマスガ、酒ノ面モアリマシテ、可ナリ困難デハナイカ、斯様ニ考ヘル次第デアリマス

○竹下豊次君 只今伺ヒマス所ニ依リマスト、米ヲ此ノ以上ニ殖ヤシテ酒ニ換ヘルト云フヤウナコトハシナイ、是ハモウ申ス迄モナイコトデアリマス、減ラセルダケ減ラシタイト云フ考ヲ御持チニナツテ居ルコトハ、一通リ想像ガ附イテ居リマス、私ガ申シマスノハ、食糧事情ガ餘リニ逼迫シテ居ル、政府筋ノ御話ニ依リマシテモ、モウ一昨年カラ言ツテ居ラレマシタガ、十九米穀年度ヨリ二十米穀年度ニ至リマス

○竹下豊次君 只今伺ヒマス所ニ依リマスト、米ヲ此ノ以上ニ殖ヤシテ酒ニ換ヘルト云フヤウナコトハシナイ、是ハモウ申ス迄モナイコトデアリマス、減ラセルダケ減ラシタイト云フ考ヲ御持チニナツテ居ルコトハ、一通リ想像ガ附イテ居リマス、私ガ申シマスノハ、食糧事情ガ餘リニ逼迫シテ居ル、政府筋ノ御話ニ依リマシテモ、モウ一昨年カラ言ツテ居ラレマシタガ、十九米穀年度ヨリ二十米穀年度ニ至リマス

中デ飲ム人ト云フノハ、全體ノ人ノ中  
デ飲マナクチヤナラヌト云フ人ハ幾ラ  
モナイ、其ノ爲ニ七十萬石、八十萬石、  
百萬石ト云フ米ヲ潰サレテ居ルト云フ  
コトハ惜シクテ堪ラナイ、其ノ位ノ我  
慢ハシテ此ノ戰ハ勝チ拔カナケレバナ  
ラナイト云フコトヲ私共ハ考ヘテ居リ  
マス、デ、一方此ノ勞働者ノ方面ヲ見  
マスト云フト、重勞働者ガ一日ニ四  
合カラ五合ト云フ位ノ米シカ食ヘナ  
イ、之ニ一合ツツデモ餘計ヤツタナラ  
バ、ドレ位生産能率ガ上ルカ、是モ我  
我トシテハ考ヘナケレバナラナイト、  
斯様ニ考ヘテ居リマス、一日ニ一合ツ  
ツ重勞働者ニ増配致シマシタナラバ、  
大方三百萬人ノ賄ヒガ出來ルト云フコ  
トニナツテ來マス、ソレダケ増配致シ  
マシタナラバ、確カニ是ハ飛行機ニシ  
テモ、殊ニ重筋ノ製鐵業トカ或ハ石炭  
鑛業トカ、サウ云フヤウナ所ニ於ケ  
ル増産ト云フモノハ、目覺マシモノ  
ガアルドラウト私共ハ思ツテ居リマ  
ス、實際腹ヲ減ラシテ、午後ノ三時  
頃カラ腹ヲ減ラシテ居ル、働カウ  
トシテモ働カコトガ出來ナイト云フ  
ノガ非常ニ多イノデアリマス、ソレハ  
政府ニ於カレテモ御存ジノ筈デアラウ  
ト思ツテ居リマス、然ルニモ拘ラズ酒  
ヲ、思ヒ切ツテ米ヲ原料トスル酒ノ醸造  
ヲ御止メニナラナイノハ、世間ニ對ス  
ル、而モ世間ノ一部ノ者ニ對スル氣兼  
ネガアリ過ギルノデハナイカ、私ハ斯  
様ニ信ジテ疑ハナイノデアリマス、其  
ノ點今此處デ、其ノ通りダト云フ御返  
事ハ固ヨリ出來ナイコト思フガ、十  
分御考慮下サイマシテ、思ヒ切ツタ處  
置ヲ探ツテ戴キタイ、固ヨリ合成酒ニ  
付キマシテモ、色々燃料ノ關係モゴ  
ザイマスシ、サウ云フコトモ承ツテ居

ルガ、量モ減ララウト思ツテ居リマ  
ス、減ツテモ減ルダケデ以テ、國民ニ  
我慢シテ貰フト云フコトガ此ノ際ノ氣  
運デアル、是位ノ強力ナル政治ヲ布イ  
テ貰フト云フコトガ必要デアルト思ヒ  
マス、ドウゾ御考ヘ下サイ、此ノ以上  
ノ御答辯ヲ此ノ席デ要求申上ゲル次第  
デモゴザイマセヌ、ソレカラモウ一  
ツ、煙草ノコトニ付キマシテ御尋ネ致  
シマス、私モ承リマスト云フト、數年  
前ノ煙草ノ製造高ト今日ノ煙草ノ製造  
高ト比較シテ減ツテ居ナイ、寧ろ殖エ  
テ居ルノデハナイカト云フコトヲ承ツ  
タコトガアリマス、是ハ政府ノ方デ御  
承認下サルドラウト思ヒマス、此ノ戰  
争ニナリマシテ、戰爭ノ目的ヲ遂行ス  
ル爲ニ直接ニ役ニ立ツ物品デアツテ増  
産ニナツテ居ルモノハ、恐ラク煙草位  
ノモノデナイカト思フ、著物ニシテモ  
何ニシテモ皆減ツテ居リマス、衣類ニ  
シテモ其ノ他ノ雜用品ニシテモ減ラナ  
イ物ハ一ツモナイドラウト、若シ私ノ聞  
キマシタ煙草ガ減ツテ居ナイト云フコ  
トデアリマシタナラバ、恐ラク數ヘラ  
レルモノハ煙草ノ製造ダケドラウト思  
フ、煙草ダケケテ減ラサナイ所ノ強イ理  
由ガ何處ニアルノカ、私ハ減ラシテ然  
ルベキモノダト思フ、何故コトナニ需  
要ガ殖エタカト云フコトヲ考ヘマスト  
云フト、恐ラク大キナ工場ナドガ澤山  
方々ニ出來マシテ、其處ニ多數ノ勞働  
者ガ集ツテ來ル、今迄吸ハナカツタ者  
ガ、ソコデ先ヅ面白半分眞似シテ吸ヒ  
出スト云フヤウナ所ノ消費モ殖エタダ  
ラウト思ヒマス、色々其ノ他ニ喫マナ  
カツタ者ガ吸ヒ出シタト云フ弊害ガ伴  
ツテ居ルドラウト思ヒマス、ソレヲ政  
府ガ今日迄禁メルト云フ努力ヲ餘リシ  
テ居ラレル所ガ私共ニハ見エマセヌ、

ソレカラ今度ノ配給ノ制度ニ致シマシ  
テモ、是ハ行列ヲスルノガ宜クナイカ  
ラコトナ制度ニ御變ヘニナツタノドラ  
ウト思ヒマスケレドモ、女ニハヤラナ  
イ、男ダケニヤルノダ、而モ男デ今要  
求シテ居ルノハ煙草ヲ元カラ吸ツテ居  
ル人デアリマセヌデ、吸ハナカツタ人  
モ矢張り配給ヲ受ケテ居ルノガ今日ノ  
状態デ、恐ラク皆デハナイカモ知レマ  
セヌケレドモ、大部分ノ男ハ要求シテ  
居ルドラウト思ヒマス、サウスト食  
事ト云フモノハ腹一杯今日ハ擧ラレナ  
イノダカラ、マア口ヲチヨツト動カシテ  
見タイカラ、煙草ヲ吸ハウカト云フヤ  
ウナ氣持ヲ以テ、新タニ煙草ヲ吸ヒ始  
メルト云フヤウナコトガ現ニ出來テ居  
ル譯デアリマス、ソレヲ又女ノ方ニ分  
ケテヤルト云フヤウナコトノ爲ニ、サ  
ウ云フ制度ガ出來タ、斯ウ云フコトモ  
アリマセウケレドモ、併シ貰ツタ煙草  
ヲ女ノ方ニ分ケテヤル人モアリマスケ  
レドモ、貰ツタギリ分ケナイ人モア  
ル、サウ云フ風ナコトヲヤラレマシタ  
ナラバ、實際煙草ト云フモノハ幾ラア  
リマシテモ、マダ足リナイ、六本七本  
デハ足リナイ、五本殖ヤシテモマダ欲  
シイト云フ事態モ起ルト思ヒマス、政  
府ノ處置如何ニ依リマシテハ、煙草ヲ  
ウント減産サレテモ宜イデヤナイカ、  
又勞務者ノ關係ヲ見マシテモ女工ガ非  
常ニ少イ、幾ラアツテモ足リナイ今日  
ノ工場ノ状態デアルノニ、私ヲシテ言  
ハシメレバ、是非必要デハナイト云フ  
煙草ヲ多量ニ製作スル爲ニ、專賣局デ  
非常ニ多數ノ女工ヲ使ツテ、外ノ方ニ  
廻サレナイト云フコトハ誠ニ惜シイ、  
斯様ナ氣持ガスルノデアリマス、酒ノ  
問題ニシマシテモ、煙草ノ問題ニシマ  
シテモ、私ノ申シマスコトハ一見非常

ニ奇矯デアルカニ聞エルカト思ヒマ  
ス、私モ亦サウ云フ非難ヲ受ケルコト  
ヲ已ムラ得ナイト思ツテ居リマスケレ  
ドモ、併シドウ見テモ此ノ際ハ一人デ  
モ勞務者ヲ殖ヤサナケレバナラス、何モ  
カモ出來ルダケ節約ヲシナケレバナラ  
ヌ非常ニ差迫ツタ時局ニナツテ居ルノ  
デ、ドウシテモ黙ツテ居ル譯ニ行カナ  
イモノデアリマスカラ、ツイ、斯様ナ  
コトヲ申上ゲタ次第デアリマス、煙草  
ノ方ハ何トカ御減ラシニナルト云フ風  
ナ工面ヲナサル御考ハアリマセヌデセ  
ウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 竹下委  
員ノ御説ニハ、誠ニ御同感スベキ點モゴ  
ザイマスガ、併シ一方煙草ノ非常ニ志  
氣昂揚、戦力増強ノ上ニ、寧ろ其ノ方面  
カラ非常ニ大キナ要求ガアルノデアリ  
マシテ、足ラザルヲ憂ヘテ居ルト云フ  
ヤウナ實情ニアルコトハ、寧ろ半面カ  
ラ御聽キニナツテ居ルコトドラウト存  
ジマス、政府ノ方ニ於キマシテハ、是  
ガ外ノ食糧其ノ他ノ生産ニ及ス影響ヲ  
考ヘマシテ、後作、前作、或ハ間作等ヲ  
極力獎勵致シテ居リマスノデ、中ニハ  
煙草ヲ作ツタガ爲ニ、是ハ肥料トノ關  
係モゴザイマセウ、好ク作物ガ穫レ  
ルト云フコトモアツテ、現在ノ煙草ノ  
面積デハ、ソレガ食糧ノ減産トナルト  
云フヤウナコトハナイヤウニ承知致シ  
テ居ルノデゴザイマス、尙又此ノ煙草  
ダケガ戰爭前、支那事變前昭和十二年  
ニ比ベテ、殖エテ居ルデハナイカ、  
一昨年アタリハ相當殖エテ居リマス  
ガ、昨年ハ努力其ノ他ノ關係デ稍、  
減ツテ居リマス、今年ハ昨年ニ比  
ベマスト、矢張り約三割程度減ル  
ト云フ風ニ相成ツテ居ルノデアリマ  
ス、配給方法ニ付キマシテハ、ドウモ  
色々實ハ相談ヲシテ見タノデスガ、  
結局何カラ標準ニ配給ヲスルト云  
フ以外ニ途ガナイノデ、標準ニスル  
トスレバ、ドウシテモ成年男子ト云  
フモノヲ標準ニスルト云フコトニナリ  
マシテ、竹下委員ガ御指摘ニナツタヤ  
ウニ喫マナカツタ者ニヤラヌデモ宜  
イデヤナイカト仰シヤイマスガ、サレバ  
ト云フコトモ、現實ノ事情トシテ困難デア  
リマシテ、當時ノ事情モ御承知ノ通り  
ニ、街頭非常ニ行列ヲ致シテ居リマシ  
テ、一日モ早ク街頭風景ヲ解消シタイ  
ト云フ、斯ウ云フ要望ガ各方面ニ強カ  
ツタノデ、一應アレダヤツタ次第デゴ  
ザイマス、尙色々當局等ニモ投書ガゴ  
ザイマス、ヤレ、斯ウヤレト言ヒマス  
ガ、只今ノ所デハ現在ノ配給制度ニ依  
ツテヤツテ居リマス、ソレデスウレ  
バ皆サンガ公平ニ、且納得出來ルト云  
フ案ヲマダ見出シマセヌノデ、現在ノ  
儘デ續ケテ居ル譯デゴザイマスガ、尙  
能ク御趣意ノ點モ考慮シテ善處シタイ  
ト考ヘテ居リマス

○委員長(伯耆林博太郎君) 只今大臣  
ガ御見エニナツテ居リマセヌケレド  
モ、政府委員デ御宜シカツタラ、ドナ  
タデモ此ノ際ニ御質問願ヒタイト思ヒ  
マス

○竹下豐次君 今ノ問題ニチヨツト續  
キマシテ、煙草ノ戦力増強ニ及ス影  
響、モウチヨツト殖ヤシテ見タラ戦力  
ガ殖エルドラウト云フコトヲ言フ人モ  
アルヤウデアリマス、ソレハ煙草ノ配  
給ガ適正ニ行ハレテ成立ツ議論デアリ  
マシテ、今ノヤウニ喫マナカツタ若  
イ勞務者迄モ配給スルト云フヤウナコト  
ハ、少シモ戦力増強ヲ援助スル所以デ  
ヤナイ、寧ろソツチノ方ガ數ガ多イノ

デスカラ、配給問題ニ付キマシテハ、一ツ十分御研究ヲ御願ヒシタイト思ッテ居リマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 仰セノ通り此ノ點ハ十分考慮致シマス、尙實ハ戦力増強方面、特ニ産業戰士ノ方面ニハ是ハ特配ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、相當數量特配ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ又尙一ツサツキ漏レマシタガ、矢張り支那デアルトカ、南方等へ是ハ持出シテ居ル分モ相當ゴザイマシテ、日本ノ一種ノ輸出ト申シマスカ移出ト申シマスカ、金ノ裏附ケト申シマスカ、サウ云フ作用モ致シテ居ルコトモ、一ツ御了承ヲ御願ヒシタト思ヒマス

○委員(伯林博太郎君) ドナタカ御質問ゴザイマセスカ

○子爵梅園篤彦君 主税局長ニ小サナコトデゴザイマスガ伺ヒタイト思ヒマス、軍刀ニ對スル課稅ハドウ云フコトニナツテ居リマスルカ伺ヒタイノデアリマス、開ク所ニ依リマスルハ八割トカ十割トカ云フ高率ヲ課セラレテ居ルト云フコトデアリマシテ、之ガ爲ニ見習士官ナドニ任官致シマシタ若イ學生達ガ非常ニ高價ナ軍刀ヲ買ハネバナラヌ、昭和刀ト申シマスカ、新刀デモ千圓以上三千圓モシナケレバ手ニ入ラナイ、ソレガ爲ニ非常ニ弱ツテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマス、果シテ然ラバ勇躍出征スベキ是等張リ切ツテ居ル下士官、見習士官ニ對シマシテ、誠ニ御氣毒デアリマスルノミナラズ、是ハ不都合ヂヤナイカト云フヤウナ風ニ考ヘルノデアリマス、當ニ軍刀ノミナラズ、所謂軍人ニ必要ナル軍裝デアルトカ、雙眼鏡デアルトカ云フ、サウ云ツタ必要品ニ對シテドウ云フコト

ニナツテ居リマスルカ御伺ヒ致シタイノデアリマス、若シサウ云フヤウナ高率ナ課稅ガ假ニアルト致シマシタナラバ、是ハ宜シク撤廢スル必要ガアルノヂヤナイカ、斯様ニ考ヘラレマスルシ、又脫稅ト云フコトガアルカラト云フ理由デアリマシタラバ、軍ノ證明書ヲ持參セシメルト云フヤウナ方法モアルカト思ヒマス、兎モ角軍刀其ノ他ニ付テノ課稅方法、或ハ之ノ取扱ノ實情ニ付キマシテ、サウ云フコトヲ聞キマシタモノデアリマスカラ、幸ヒ無ケレバ結構デアリマスガ、御説明ヲ煩シタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 軍刀其ノ他ノ軍裝品ニ對スル課稅ノ問題デゴザイマスガ、御尋ノ軍刀ニ付キマシテハ、概ネ是等ノ課稅ハ物品稅ノ問題デアリマシタガ、物品稅ニ付キマシテ軍刀ト云フモノニ特ニ課稅ハ致シテ居リマセヌ、從ツテ新刀ニハ何等ノ課稅ハナイノデアリマシタ、併シナガラ刀劍類ト云フモノノ中ノ骨董ニ對シテハ八割ノ課稅ヲ致シテ居リマス、骨董ト云フコトニ入リマシモノニ付キマシテハ課稅ガアル、斯ウ云フコトニナリマス、唯取扱トシマシテ骨董ノ中ニ入リマシモノニ付キマシテモ、小類ノモノニハ課稅ヲシナイ、法律上ハ骨董ナラ課稅ヲスルノデアリマスガ、五百圓程度ノモノ迄課稅ヲ致サナイト云フ扱ヲ致シテ居リマス、從ヒマシテ今ノ昭和刀、新刀等ニ付テハ、物品稅ノ課稅其ノ他ノ課稅ハ爲サナイ管ダト思ヒマス、ソレカラ其ノ他ノ軍裝、例ハバ雙眼鏡デアルトカ靴デアルトカ靴デアルトカ云ツタヤウナ類、是等ハ孰レモ物品稅ガ掛ルコトニナツテ居リマス、併シ軍用、軍用直

ノ措置ヲ講ジテ居リマスシ、又軍ガ直

接買ハナイ場合ニ於キマシテモ、軍人ガ軍ノ證明ヲ持ツテ借行社トカ水交社トカ、サウ云ツタ所カラ特ニ買入レルモノニ付キマシテハ、免稅ノ措置ヲ講ジテ居リマス、唯雙眼鏡ニ付キマシテハ、是ハ雙眼鏡以外ノ先程申シマシタ靴デアルトカ靴デアルトカ云ツタヤウナモノハ、總テ小賣課稅ニナツテ居リマス、小賣ノ單價ニ於テ物品稅ヲ課稅スルコトニナツテ居リマス、雙眼鏡ハ製造課稅ト申シマシテ、製造場ヲ出マ

ス際ニ物品稅ヲ課稅スル、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマスノデ、一度雙眼鏡ガ市場ニ出マシテ、ソレカラ軍人ノ方ガ小賣價ヲ行クト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、免稅措置ガアリマセ

ハ、直接製造場カラ買取メラレル場合ハ、是亦軍ノ證明ヲ以テ免稅ノ措置ヲ講スルコトニナツテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 新刀ガナカノ此ノ生産ガ十分ニ行カナイノデ、手ニ入リ難イ、勢ヒ古刀ト申シマスカ、骨董ノ價值ノアル刀ト申シマスカ、サウ云フモノヲ斯ウ云ツタ若イ見習士官ガ是非手ニ入レナケレバナラナイト云フ必要ニ迫ラレタ場合ニハ、軍ノ證明其ノ他ヲ持ツテ、特ニ無稅トスルコト云フヤウナ臨時ノ處置ヲ御執リニナル方法ガ適當デアリカト思フノデアリマスガ、サウ云ツタ御考ハアリマセヌデセウカ

○政府委員(田中豐君) 只今申シマシタヤウニ、骨董ノ部類ニ入ル古刀ニ付キマシテモ、現在取扱デ五百圓程度迄ハ課稅シナイコトニナツテ居リマス

ガ、更ニ證明等ニ依ツテ課稅シナイトカ、又五百圓ト云フモノヲ相當金額ヲ引上げマシテ、普通ニ出征ナサル方ガ

買フヤウナ刀ハ課稅シナイト云フコトニナリマスカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、研究致シタイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 軍刀問題ハ是デ打

切リマシテ、丁度政務次官ガ見エテ居リマスカラ、今朝大藏大臣ノ御質問申上ゲタコトニ關聯シタコトヲチヨツト話サウト思ヒマス、今朝大藏大臣ハ賣上稅ノ創設ニ付キマシテハ、食料品ニ課稅ガ出來ナイ、賣上稅ト云フモノノ施行ハ無意味デアルト云フヤウナ御答辯ヲ戴イタノデアリマスガ、現ニ料理屋ノ料理代ト云ツタモノニ既ニ賣上稅ガ課稅サレテ居リマスルノミナラズ、食糧ノ關ト云フモノガ御承知ノ通り非常ニ横行致シテ居リマスルコトヲ考ヘマスルト、寧ろ食糧品ニモ賣上稅ヲ課スルコトガ強ク不合理デアリト考ヘルノデアリマス、否、寧ろ此ノヤウニ職局ガ苛烈ト相成リマシテ、斯ウ云ツタ状態デ追々進行シテ參リマスニ從ツテ、結局全般ノ賣上稅ノ創設ノ必要ニ迫ラレルニ至ルデアリカト私ハ考ヘルノデアリマス、果シテ、若シモサウ云フヤウナ方ニ進ンデ行クモノデアルトスレバ、寧ろ今日之ヲ斷行スル方ガ宜イノデアリカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、賣上稅ノ全般ノ斷行ト云フコトニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 御承知ノ如ク、米其ノ他ノ主要食糧ニ付キマシテハ、國庫ニ於テ多大ノ補給、助成等ノ方法ヲ講ジテ居ルヤウナ事情デゴザイマシテ、左様ナモノニ賣上稅ヲ課スルコトガ出來ナイコトハ御了承願ヘルト思ヒマス、從ヒマシテ全般ノ申シマシタ賣上稅ニ付キマシテハ、今ノ物品稅ヲ尙一步進メテ其處迄及スカド

色々研究ハ致シテ居ルノデアリマスルガ、左様ナ主要食糧其ノ他ニ關スル關係モゴザイマスルノデ、實ハ未ダ結論ニ達シテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ政務次官ノ御説明ニ依リマシテ了承致シマシタ、尙主税局長ニ、モウ一點伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ今後増稅ノ目的物ト致シマシテ、直接稅デアアル所ノ分類所得稅ニ重點ヲ置カネバナラナイト云フコトハ、今朝大藏大臣ノ御答辯ニモアツタヤウニ思ヒマシテ、一應勿論了承致シテ居ル譯デアリマスガ、實際稅收入ノ點カラ申シマシテ、直接稅ト關接稅ト、ドチラガ其ノ多クヲ期待スルコトガ出來ルカ、換言致シマスルト、右兩者ノ孰レニ重點ヲ置イタ方ガ、増收ヲ圖ル上ニ於テ便宜デアアルカ、又效果ガ大デアアルカト云フ點ニ付テノ主税局長ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス、尙右兩者ニ依リ稅收入額ノ開キト申シマスルカ、其ノ差額ノ御見込ト云フヤウナ點ニ付テ、御説明ヲ得マシタナラバ幸ヒト存ジマス

○政府委員(田中豐君) 今後増稅等ヲ行ヒマス場合ニ於テ、直接稅カ關接稅カ、又ハ直接稅ニシマシテモ關接稅ニシマシテモ、如何ナル稅種ニ重キヲ置クガ宜イカ惡イカト云フヤウナ點ノ御質問デゴザイマスガ、今朝理モ大臣ガ申シマシタ如ク、直接稅ニ於キマシテハ、分類所得稅ト云フコトガ、將來ノ増稅ニ於テモ中心ヲ成スト云フコトヲ私共考ヘテ居リマス、唯此ノ場合ニ於キマシテ、分類所得稅ト申シマシタノハ、現在ノ分類所得稅ノ儘デアノ各種類別ノ區分ノ下ニ、ソレノノ稅率ヲ唯上ゲテ行クト云フ趣旨デハ必ズシモ

ナイト存ズルノデアリマシテ、分類所得稅、即チ源泉ニ於テ比例稅率ヲ取ル、此ノ特質ヲ持ツタル所得稅ト云フモノガ中心ヲ成スベキモノデアラウト私共考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ、例ヘバ名前ハ必ズシモ分類所得稅デハナクテモ、昨年アタリ謂ハレマシタヤウナ國民稅デアルトカ、或ハ「アメリカ」ガ現在行ツテ居リマスガ、戰勝稅ト云フモノ、或ハ非常時國民稅、色々名前ハ變リマセウガ、源泉ニ於テ比例稅率デ廣ク國民カラ徵收スル、實質ハ所得稅デアリマシテ、サウ云フ稅ガ今後ノ増稅ニ當ツテ徵稅ノ中心ヲ成スモノデアルト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙、間接稅ト直接稅トドチラガ宜イカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、必ズシモ一概ニドチラガ宜イト云フコトハ申サレナイト思フノデアリマスガ、從來カラノ租稅理論ニ依リマスレバ、所謂間接稅ハ負擔ノ公平ヲ期シ難イ、逆進的ノ作用ヲ爲スト云フコトデ、直接稅ニ重キヲ置カレテ參ツタヤウデアリマス、併シナガラ戰時財政ニ入りマシテハ、必ズシモサウ云ツタヤウナ理論ニ拘泥ハ出來ナイト云フヤウナコトカラ、徵收ノ便宜デアルトカ、或ハ多額ノ收入ヲ擧ゲ得ルコト、或ハ又其ノ時ノ購買力増進ニハドウ云フ方面ガ宜イカト云ツタヤウナ觀點カラ、間接稅モ我が國ニ於テモ隨分増徴サレ、各國ノ戰時財政モ其ノ方向ヲ辿ツテ居ルヤウデアリマスガ、最近ニ於キマシテ感ジマスコトハ、間接稅方面ノ所謂國民ノ消費物件ト云フモノガ非常ニ窮屈ニナツテ參リマシテ、奢侈的ノ消費物件、奢侈的ノ行爲等ハ勿論ノコト、國民ノ生活ノ必需品ストラモ

段々ト窮屈ニナツテ參ル、一方間接稅トシマシテハ、成ルベク奢侈的ナモノ、若シクハ第一義的ナ生活必需品ニ課稅スルト云フヤウナ建前カラ參ツテ居ルモノデアリマスカラ、サウ云フ品物ノ消費行爲ト云フモノハ、非常ニ減ツテ參リマシタ、斯ウ云ツタヤウナ、戰時下ニ於キマシテ段々斯ウ云フ趨勢ガ強化致サレルナラバ、今後間接稅ニ稅收入上多クノ望ミヲ抱クト云フコトハ困難デハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙間接稅ガ宜イカ直接稅ガ宜イカニ付キマシテハ、浮動購買力ヲ吸收スル爲ニ孰レガ宜イト云フ問題モアルト思ヒマスガ、大體直接稅ノ方ガ、直接一ツノ其ノ所得カラ直チニ資金ヲ吸收スルコトデアル、間接稅ハ其ノ資金ヲ一度使ツテ賣ツテ、其ノ機會ニ吸收スルト云フヤウナコトデ、サウ云フ面カラハ寧ろ直接稅ノ方ガ好マシイト思ヒマスケレドモ、又消費ノ制度カラ考ヘラルベキ場面モアリマスノデ、一概ニハ申シ兼ヘルト思ヒマス、唯將來多クノ收入ヲ間接稅ニ期待スルコトハ、困難デハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

**○委員長(伯爵林博太郎君)** 他ニ政府委員ニ對シテ御質問ゴザイマセヌカ、ソレデヤ今日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日午前十時開會ヲ致シマス

午後二時四十八分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 伯爵林 博太郎君
- 副委員長 伯爵稻田 昌植君
- 委員 伯爵德川 家正君
- 伯爵細川 護立君
- 伯爵筑波 藤麿君
- 伯爵松平 乘統君

- 國務大臣
- 子爵西尾 忠方君
  - 子爵梅園 篤彦君
  - 子爵安藤 信昭君
  - 子爵本多 忠晃君
  - 下條 康麿君
  - 內田 重成君
  - 長 世吉君
  - 男爵松平外與麿君
  - 男爵近藤 滋彌君
  - 男爵島津 忠彦君
  - 三浦 新七君
  - 黑田 英雄君
  - 澤田 牛麿君
  - 竹下 豐次君
  - 井坂 孝君
  - 千石與太郎君
  - 正力松太郎君
  - 橋本辰二郎君
  - 佐々木長治君

- 政府委員
- 大藏大臣 石渡莊太郎君
  - 內務大臣 大達 茂雄君
  - 內務省地方局長 灘尾 弘吉君
  - 內務書記官 大野 連治君
  - 大藏政務次官 小笠原三九郎君
  - 大藏參與官 田村 秀吉君
  - 大藏省總務局長 山際 正道君
  - 大藏省主稅局長 田中 豐君
  - 大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
  - 大藏書記官 福田 赳夫君
  - 同 平田敬一郎君
  - 專賣局長官 濱田 幸雄君

昭和二十年二月五日印刷

昭和二十年二月六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局